

1961. 5. 25 (木)

VOCALIZE

No. 54

AKCヴォーカライズ機関紙

編集 浅井幸三

(日の暮れ)

中村 稔

日の暮れ：

遠潮のおらびも海松(みる)のにおいも
もう暮れていつていい時刻だ

訣(わか)れよう

たえまない波のルフランが

ぼくの手にはトランクを

夕影に埋もれてゆく海辺の街並の

低い薨(いらか)：

ふるさとは遠く

ああゆらいでいる燃えている

黄色い瞳

没日(いりひ)は恋人の咽ぶように

―「婦人画報」より

Vocalize <54 号>

必ず読んでもらいたい項目―

- ・ 新年度役員さまる……………2
- ・ ニュース(異動、会合)……………3
- ・ 合唱団のページ……………10
- ・ 宇賀溪へハイキングします……………11
- ・ 会費を納めて下さい……………11
- ・ 6月のメモ……………9
- ◇ コーラス(会員近況)……………4
- ◇ 21年度を占う(アンケート)……………12
- ◇ 「仲良くしようネ」(浅井幸三)……………14
- ◇ プロフィール高橋昭弘君(十三)……………15
- ◇ プロフィール岡嶋 孝君(十三)……………16

5月の演奏会 名古屋

◇クラシック◆ポピュラー■ステージ

◆ 八城一夫カルテットと映画「恋の手ほどき」
11日夜 文化講堂(芸文4月) 4/22の延期

◇ アルチュール・グリユミオー・ヴァイオリ
ン演奏会 4日夜 文化講堂

◆ モダン・ジャズ・カルテット公演
10日夜 市公会堂

◆ 石井好子シャンソニリサイタル
11日夜 文化講堂(ロータリー)

◆ チェミと共に 江利チェミ、デュークエイ
セス、松本文雄とミュージックメイカーズ
13日昼夜 14日昼Ⅱ 市公会堂(労音C)

◇ 井口基成ピアノ演奏会
17,18日夜 文化講堂(友の会)

◆ ナット・キング・コール公演
18日夕夜 市公会堂

◇ アルトゥール・エイゼン バス独唱会
21日夜 市公会堂(労音A)

◇ 君にささげんわが心―セレナーデ集―
友竹正則、山田夏精、シャンブル・サンフ
オニエット 23日夜 市公会堂(労音B)

◆ 中原美沙緒と映画「真夏の夜のジャズ」
31日夜 市公会堂(芸文)

◇ 豊増昇ピアノ演奏会

28日昼 CBCホール(音楽サロン)
◇ NHK交響楽団演奏会 指揮 ウィルヘル
ム・シュヒター、ピアノ安川加寿子

30日夜 市公会堂

◇ 三浦みどり・栗林泰信ジョイント・リサイ
タル 23日夜 文化講堂

昭和三十七年度役員きまる

前年度役員、半数が入れかわる

…役員選挙投票結果…

昭和三十六年度役員選挙（四月十二日締切による郵送方式）の結果、つぎの人たちが新役員になった。Ⅱ下段は担当Ⅱ

会長	浅井 幸三（五）	合唱団
副会長	森本 進（十）	つどい
委員	鈴木 道郎（十二）	指揮
同	水野 俊彦（六）	組織
同	水野 令子（八）	会計
同	神藤 敏子（十二）	鑑賞団体
同	高橋 昭弘（十三）	編集
同	伊藤真知子（十四）	旭丘
同	加藤久美子（十五）	東京
同（東京）	若林 延昌（五）	大阪
同（大阪）	松沢 暢夫（六）	

投票率			
ブロック	会員	投票	率
A	11	3	.273
B	9	5①	.667
C	8	6	.750
D	11	10	.903
E	6	3	.500
F	5	2	.400
東京	11	4①	.455
大阪	9	5②	.778
計	70	38④	.600

○内は、締切後投票者数

〔会長・副会長選挙得票Ⅱブロック別Ⅱ〕

		投票数																			計						
白票	水野 公子 (十三)	8 ③	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2 ①	3	3	4 ②	5	6 ①	9	11	24 ③	30 ②	38 ④	名A				
	野村 圭子 (十三)	1												1				2	3	5	5	名B					
	川村 朋子 (十三)		1																①	①	①	名C					
	横橋 貞雄 (十二)																		1	4	4	6	名D				
	高橋 洋子 (十二)																						10	名D			
	佐藤 治江 (十一)																							3	旭E		
	上前昌三郎 (九)																							2	旭F		
	村田 陽子 (七)																								4	東京	
	安田 良江 (六)																									5	大阪
	安田 軍二 (十三)																										
高橋 昭弘 (十二)																											
毛利 豊 (五)																											
加藤 幽香子 (五)																											
水野 俊彦 (六)																											
永井 充 (八)																											
伊藤 真知子 (十四)																											
神藤 敏子 (十二)																											
鈴木 道郎 (十二)																											
森本 進 (十)																											
浅井 幸三 (五)																											

（注）・締切後、四人の方からの投票がありました。無効票として取り扱うべきところですが、一部ブロックでせっけているところがあり、同数の場合には、この方たちの票（これを参考票とみなして）によって決定しました。この表の中で、①のように書かれたものがそれです。参考票は有効票には合算してありません。

〔ブロック委員選挙得票〕

ブロック		当選氏		名（期）		得票	
大阪	△	鈴木 茂（12）	渡辺 義彦（11）	中尾 桂二（7）	松沢 暢夫（6）	1	①
						1	①
東京	△	山崎満寿枝（14）	石井よし子（9）	小川恵津子（7）	若林 延昌（5）	1	①
						1	①
F	△	内藤 毅（15）	加藤久美子（15）	伊藤真知子（14）	平山 葉子（14）	1	5
						1	
E	△	増田 禮（13）	川村 朋子（13）	水野 公子（14）	安田 軍二（13）	1	2
						2	4
D	△	高橋 昭弘（13）	高橋 洋子（12）	神藤 敏子（12）	鈴木 道郎（12）	1	2
						2	①
C	△	永井 充（8）	上前 佳子（8）	大橋 佑子（10）	水野 令子（8）	1	2
						2	②
B	△	佐々 知子（7）	加藤幽香子（5）	浅井 幸三（5）	毛利 豊（5）	1	①
						1	
A	△	水野 俊彦（6）	伊藤真知子（14）	神藤 敏子（12）	高橋 昭弘（13）	1	2
						2	①



この欄はAKC出身者
みんなの近況を知らせ
合うためのものです。だ
れのことでも、どんなこ
とでも、ぜひお知らせ下
さい。

◇…二井真智子さん（十四）は四月九日、転居された。

東京都世田谷区世田谷×××

◇…小出幸子さん（十二）は、東京理科大学に学ぶことになり、四月八日上京された。

東京都杉並区和泉町×××

◇…福岡二三子さん（七）は四月十三日、横山進さん（25）と三和銀行とご結婚。横山さんは福岡さんが勤めていた頃の同僚。

名古屋市南区豊郷町×××

◇…小川恵津子さん（七）は四月二十九日、渡辺恒男さん（28）と八幡製鉄とご結婚。東京地区へ移られた。

武蔵野市吉祥寺×××

◇…桜山崇子さん（七）は五月十一日ご結婚。新生活にはいられた。新姓溝上。

東京都杉並区神明町×××

◇…園部靖子さん（十）は、お姉さんの結婚式に出席されるため、五月二十一日名古屋を訪れた。

東京地区のつどい、静かに…

◇…半年ぶりの「東京地区のつどい」は、五月十四日午後三時から、東京二子玉川園内の「せゝらぎ亭」で開いた。日取りが急に決まったことなどから連絡のとれない人もあり、出席者は全部で六人、場違いがわざわざいしたのか、それとも年齢の開きからくる遠慮が手伝ってか、女中さんに「ほんとうに皆さんはお静かですね。いるのか、いないのかわからないくらい」といわれるほどのおとなしさ。やはり、もつと大ぜいでわいわい騒ぎたい、そう痛感させられた「つどい」だった。

【出席者】 若林延昌（五）石井よし子（九）園部靖子（十）後藤成价（十二）小出幸子（十二）浅井幸三（五）

名古屋「みんなのつどい」

◇…合唱団創立を祝う「みんなのつどい」は、四月十三日夜、旭丘高校音楽室で行われた。つぎの十八人が出席して、談合のひとときをすごした。

浅井（五）桜山（七）永井（八）千本木、森本（十）神藤、鈴木道、高橋洋（十二）岡嶋、川村、志水、藤野、高橋昭、林、水野公、安田軍（十三）朝日、伊藤（十四）

私の好きな詩

中村 稔 「日の暮れ」

高橋昭弘

意外とロマンチストなので詩は好きなんですけど、よくわからないものが多い。この詩もどことなく憂愁をたたえたムード。表面的には静かだが内に秘めた激しい感情、そんなものが感じられて好きだ。それに、僕は海と夕暮れとが好きだから、一口にいつて、ただ何となく好きな詩。

編集部から

「一面の詩は継続すべきだ」…そういつてくださる会員の方が多々ありました。この「私の好きな詩」欄へ投稿なさるには、あなたの好きな詩一編（題名、出典などを明記してください）と、それについての短い感想（四百字以内）とを、委員あてお送りねがいます。お気軽に、好きな詩をお知らせください。

誕生日おめでとう（5月）

・五月九日 渡辺恵津子（七） 25歳
・同 十三日 藤野 絢子（十三） 19歳
・同 二十三日 加藤久美子（十五） 17歳
・同 二十四日 船木 弥子（七） 25歳
・同 二十九日 村田 陽子（七） 25歳

Chorus



—4月上・中旬分—

発行日がおくれ時間的ズレが大きくなったことをお詫びします。

浅井 幸三(五)

近況…「Vocalize」53号を発行してほつと一息。ああ助かった、これでわが務めは終わりぬ…と、そう単純に喜べばいいのですが、この選挙の結果が気にかかる。

予定…四月下旬は音楽会通いで忙しい。五月三、五日 たぶん大阪にいます。五月十四、十五日 きつと東京の空の下。

どちらも「ヴォーカライズのつどい」があるといいですね。その間隙を縫って、さびしがりのボクは、ひとりでいることをさびしがる。
etc…四月六日 AM 三時四十分 オヤ スミナサイ

また東京へ帰ります。 上京の折はぜ
若林 延昌(五)

ひおいで下さい。せめてお電話でも。夏までごきげんよう！

加藤幽香子(五)

近況…元気でもありそうでもなし。とかく木の芽時は全てが狂ってくるのでしょう。

予定…立てた予定に大いなる希望をもっている、いつも事こころざしと異なるので、あまり考えないことにしています。宣伝…今のところ大安売りするものもありませんので、またコンド。

演説…破れた声で市長選の演説をガナッています。この際法律で禁止するように心から願っている次第です。世の中を静かにするために、皆さんいかがですか。

藤井 容子(五)

☆大好きな桜の花が、わが鉄筋六軒長屋の三階から存分に観賞できて、ゴキゲンな毎日を過しています。

☆ある人からダンナ様とクルマとどっちが操縦しやすいかと聞かれました。前者の方デス。(ナイショデスガ)

☆コーラス欄はいつも好評ですが、アンケートの項目をアンケートしてはいかが？ ばくぜんとしているより書きやすいと思います。

松沢 暢夫(六)

山と海にはさまれた細長い町神戸。神戸の人々はいとも気軽に山登りをします。まさにゆりかごから墓場まで、老若男女が山歩きを愛します。僕も名古屋にいたときには夢にも思わなかった山歩きに夢中です。あるときは会社の悪童どもと、あるときは一人でリュックをかついでキラバンシューズをはいて六甲連山を徘徊します。でも残念なことに、ステキな彼女と山に登ったことは一度もありません。あいにく持ち合わせがないので、それでも都会のざわめきからはなれて、皆さんとふりそそぐ太陽を浴びて草地に寝そべって、何も考えずにぼんやりしている気分は、何ともいえない良いものです。いつも見上げていた塔やビルを、はるか上の方からながめると、何だかとてもえらくなったような気がするのです。「バカとケムリは高いところに上りたがる」などというのは、高く登れないあわれなヤツらがいい出した負けおしみである。ハヨウ、チョウニナランカイナ。

原 まき子(六)

桜の花も満開の四月九日、西宮海清寺にて光沢会のお茶会が開かれました。私の先生が当番の奉仕にあたっていましたので、私も和服を着て奉仕いたしました。

第五番目が私のお手前にあたっていましたので、落ちついたつもりでお手前を始めましたが、手がぶるぶるふるえて震えがとまりません。それも私の席だけが四十人(他の方は二十人)のお客様が入り、八十の目で見つめられていると思うだけで、きつと上ってしまったのでしよう。ガタガタブルブルがお抹茶を入れたところからとまったので、あとは落ちついて、無事にお役目を終えました。

その後、控えの間で大笑い。一番心臓の強い私が良く上がったとかで、私としては大してハートも強くなく、大きくもないつもりだったのが、他の方には強く見えるらしいのです。でもガタガタブルブルのおかげで、おとなしく、心臓が弱いことをわかってもらえました。

太田 岸子(十五)
一〇三から無事進級でき二〇八にな

りました。担任は社会科の三輪先生でございます。

中尾 桂二(七)

朝一時間、夜二時間、いつもステレオを聞いています。会社からベートーヴェンやブラームス全集をはじめいろいろなレコードを借りてきます。今年から会社のレコードの購入の方も引き受けることになりました。こちらには知人があつて、レコードが二割引き以上の安い値段で買えますので、どなたでも希望の方は御一報下さい。一時クラシックからはなれていました。このごろはクラシックでなければ……というふうにかわってしまいました。ベートーヴェンの「合唱」「英雄」、ブラームスの第一、第四、チャイコフスキの第五、ポピュラーですが大好きです。一日に五時間くらい聞くこともあり。ボクは音楽キチガイになりました。

桜山 崇子(七)

名古屋にいれば毎日同じくり返しです。四月一日より六日まで東京へ行ってきました。五月末より何とかシスターズ的なコーラスグループで食べていくことに決まりました。相変らずやせています。ふとる方法を

教えて下さい。

上前 佳子(八)

先生稼業も四年目、すっかりかまぼこになりましたものの、依然として俸給順でいうと末席をけがしているままです。万年二、三年の担任らしく、二度目の三年一組です。友人のいわく、一番あばれる(子どもが)時期だから、先生もそれに負けないようにしてあるのね、とさ。どうも真実として肯定している次第。音楽の教材も今年からむずかしくなり、本領発揮を喜んでいる毎日です。

永井 充(八)

「仕事の旅」これはちよつとつらい。
十日〜十四日 四国(中京中学)
十七日〜二十二日 九州(名付高)

まれてはじめて

二十三日〜二十六日 四国(東山工)

四月はクラス写真もあり、商売とはいえないといひんどすけどね。暗室作業が

まだ退院して十日あまり、疲れが残ります。33号に目を通し、やつとここまでのどろついたのがせいっぱい！

大橋 佑子 (十)

近況 東大コーラルアカデミー合唱団と一緒に歌いました。東大生ってすごくイバッています。でも感じの良い人たちです。

宣伝 (?) 県女大合唱団も四月から高階由美先生と水谷先生に基本的なレッスンを受けることになりました。名古屋地区にヨイ女声合唱団のないことに、一同大いに憤激したというわけです。

予定 十五日から最後の休みを遊び暮すため大阪へ行きます。講義は十七日からですが、最初から講義をきくのもナンセンスとこころえ、十八日に帰名する予定です。国際フェスティバルでモントリオール・パツハ合唱団がきけるのが唯一の楽しみです。

etc... 何かおもしろい原稿を書こうと思っっていますが、なかなかヒマがなくて...

森本 進 (七)

四月一日 東京のいとこが結婚しました。ウソではありません。

四月二日 母が東京から帰りました。おみやげはありませんでした。

四月三日 手紙を書きました。相手

は旭丘の二年生でした。女性です。

四月四日 私は二十二歳になりました。本とお菓子をたくさんもらいました。おいしかったです。食べたもの、寿司、さしみ、ブドウ酒、ケーキ、みつ豆、まんじゅう、ようかん、みかん、りんご、ピーナッツ、エビセンベイ、その他のお菓子、紅茶。

四月五日 Vocalize ができました。「公明選挙をいたしましょう、棄権は絶対にやめましょう」とは書いてないですが、皆さんはハガキを返して下さると思います。国鉄運賃が上りました。政治家はタダです。皆さん、議員になりましょう。

四月六日 パパとママは長野へ行きました。私が料理をつくりましたら、ものすごくうまいのができました。うますぎて口の中と腹の中がおかしくなりました。

四月七日 学校へ行きました。三年のときの通知表をもらいました。たいへんみごとな成績でありました。

四月八日 野球が始まりました。大洋が勝ちました。うれしくてうれしくて、きょうはきつとよくねむれます。

以下予定 四月九日 二期生と家でお花見。桜の木はかたわりのようなできそこないが一本あります。四月十日以後寝て食うこと以外不明。

園部 靖子 (十)

「近況」 やつと一人前に近い生活ができるようになりました。アリガタヤです。注射と薬で春休みは終わりました。

「予定」 四月十日の汽車にて上京。これもお薬がおともです。十三日から学校。二十日までレポートを四つ書かなければなりません。

千本木宣子 (十)

この封を受け取ったときは、何も読む気力が起らないほど疲れていました。朝九時から四時まで保育室の移動や新学年の準備で全くくたれた。「子供が一時半に帰ったあとは一体何をして遊んでいるの」と、よく友人からうらやましがられますが、とんでもございません。準備と跡片付けのすべてが先生と呼ばれる人の仕事になっているのですもの。

鈴木 道郎 (十二)

・スイングアウトと思いきや、キャッチャー、パスボール。スベリコミ・セーフ！いつまでたっても低空飛行はやめられません。

・この四月で満二十歳。自分がどうもあわれでなりません。

渡辺 義彦(十一)

四月の五日に京都の友人を訪れ、京大の門前で安井に遭遇。夕食後彼の下宿で語るの時を得た。殺風景な部屋の机に積まれた哲学書が彼の生活を語る。旭丘時代を省みて、音楽部のウラバナシの種を提供しあい、ひそかな楽しみを味わった。ポートワインをなめながら女性を次々と槍玉にあげるその快感！ 京の春はよかった。

四月七日、阪大混声合唱団のハイキングは絶好の快晴に恵まれ、緑に霞む山々の起伏、青々とよくのびた麦をながめ嵐山方面に遊んだ。ともあれ安井の顔を見たのは大きな収穫であった。

藤野 絢子(十三)

お勤めして早くも半月、会社にすっかりなれ、毎日楽しい限りです。近いうちに三階建てに改築します。それができて人数が増すと、本格的な「名古屋営業所所長秘書」として活躍します。それが楽しみです。今はあらゆることをやっています。でもやはり最大の楽しみは初のお給料をいただくこと。これ一途に現在すごしています。

服部 修(十二)

伊豆へ行く予定が、まだ行かない前交通事故を起し修理代は払わせられるやら、おやじにはお目玉をちょうだいして、もうさんざんな目……。おかげで伊豆にはいけず、渥美半島へ友だち二人と春の海を見てきました。その日はすごく暖かく、海岸の砂浜に寝ころんで青い海をみながら潮の音を聞いていたら、ちよつと感傷的な気持ちになりました。花がすごくきれいで、うんと咲いてすごいいところ。すぐくを何度も書いたけれど、行っていない人がいたら行かれるといいですね。(二人連れがいいですよ) 帰りに花を買い込んで、アルバイトをさせてもらいました。

二井真智子(十四)

四月九日に再び転任しました。新住所は世田谷区×××です。これで引っ越しは十回目です。でもそのたんびに、家の構造も違うし、やっぱり家ががらっとかわると心もしゃんとしますね。これを機会に大いにはりきって、もつともつと勉強に、ピアノに力を入れようと思っています。

石黒 鋒子(十二)

私は今、自分の大学の女声コーラスを発展させることで頭がいっぱいデス。南山大学の女声コーラスなんてキイタこともない方ばかりだと思います。つまり歴史も実績もないので、私たちの時代から第一歩をふみ出すのと同じですが、幸いにも私のような熱心な部員が出現したので、今年度にはフレッシュマンを三十人強引に勧誘しました。この人たちをいかにしてわがクラブに定住させるかという問題と真剣にナイ知恵をしぼって日夜悩んでいます。ドナタかよいアイディアをおしえて下さいナ。

近藤 譲子(十三)

第一志望のところをめぐにすべってしまった、今は悲しみの谷にいます。当然の結果であつたのかもしれない。浪人しようか、それとも今受かっているところにしようかと、それこそ夜も寝ないで(?) 六日間考えました。その間、先生に相談したり、友だちに電話をかけた、訪問したり、なかなか決心がつかなかったのですが、ついに浪人することにしました。あせらずに勉強するつもりです。

岡嶋 孝(十三)

高校生活が終了しました。あわただしい三月でしたが、ついにサクラチル。浪人を始めました。少しばかりさみしい気がしますが、サボっていた報いだと思います。

先日、NHKのラジオでブラームスの「交響曲第四番」を聞きましたが、たいそう楽しかったです。ブラームスは固苦しくてつまらないものとはかり思っていました。聞いてみると、そんなこともありません。良い曲だと思いました。前に高橋昭弘がブラームスの管弦楽曲は管弦楽曲を聞く者が最後に行き着くところだと言っていました。が、それを思い出しました。いずれ全四曲聞いてみたいと思います。

川村 朋子(十三)

オッス！という旭丘オノコどもの元気な声が聞かれないビルの中、何となく寂しい気がします。どこかで、だれかにあえないカナと、栄町あたりでキヨロキヨロ（ドロちゃんじゃなくつてよ）。仕事の失敗は一日に数回。どんなBGになるやら、末頼もしい？

高橋 昭弘(十三)

・予定を実行に移しました。ウキウキと心も軽くウサを晴らしに遠足に出かけました。文字通り遠足でありました。高山線の白川口〜上麻生間12kmをテクリました。一行五人、うち女性二人。最後まで元気だったのは二人の女性でありました。ー強き者、なんじの名は女なりーでも飛水峽、いいところでした。深く澄んだ緑色の水、黒い岩、白い砂、チョットはげているけど深緑の山、薄緑色の竹やぶ……。そして何よりよかったのは人間のいないことでした。

・このところひまだったのでマージャンを覚えかけました。別に覚えたいわけではないんですけど、近所に悪友が一ぱいいますので。悪友いわく「文学部ナンテヒマでしょうがないから、マー、ジャンジャン、マージャンでもやるんだな」(スイマセン、ヘタナシヤレデ)

・どいつ語とふらんす語のラジオ講座を聞き始めました。えいごも満足にできねえくせにシヤラクサイなんていつて下さいますな。僕はこの間、だいがくに入れていたいただいたばかりなんですから。でも二つもやっている、そのうちにこんがらがってくるんじゃないかと心配です。
デハ、Auf Wiedersehen!

林 茂樹(十三)

旭丘四年生に進級(?) 予定です。おっこちたのが何でもないので、予想通りだったのと若さと楽天的なところがあるから。けれどもまた一年間イヤな数学と顔を合せるのかと思うと心の底までウンザリ。旭丘よりチョツと上の学校へみごとスベらなかつた皆さん、そしていまだ未成年なのに大人の仲間入りした皆さん、学校や会社のことをダベリに暇を見つけてぜひ来て下さいネ。大歓迎です。ヴォーカライズがますます楽しくなるでしょう。元気でな!

志水 照代(十三)

新生活に小さく一歩踏み出しました。毎日毎日覚えることで一ぱい。楽しくもあり悲しくもあり苦しくもある毎日。悲しいときには特に高校時代の友がなつかしくなりません。そんなとき、このヴォーカライズのたよりが来、うれしくなつてしまいました。少しおセンチになつてしまいました。一人のお客様にもたくさんあります。一人のお客様に二度お茶を出したり、失敗ばかりしています。そろそろのできごととはまたの機会に……。

小出 幸子(十二)

まだまだ学校の様子がわからなくて困ってしまいます。時間割の発表がありました。土曜日は午後一時から始まります。喜んでいいのか、悲しむべきか、わかりません。

増田 禮(十三)

思ったより、大学はしばらくそうなので、悲観しています。もうしばらくして、サボルことになったら、楽しくなるかもしれませんけれど。

水野 公子(十三)

入試において先生にニラマレ続けたので、落とされるかと心配。でも合格して一安心。これからはアルバイトに一生けんめい。その次ぎにピアニ、最後に教養(先生にお目玉かな)。

平山 葉子(十四)

もう三年生になってしまいました。新一年生がともかわいらしく感じられ、女生徒全部が妹のような気がします。しかし弟という感じはおこりません。旭丘の男生徒は、どこかひねこびていますから。

山崎満寿枝(十四)

八日朝六時過ぎ、修学旅行から帰ってまいりました。京都、屋島、小豆島へ行きました。真知子さんの感想にまったく同感です。

名古屋駅で下車して、旭丘の音楽室へ飛んでいきたくてたまりませんでした。いよいよ高三、最高学年、受験生といやな名前をちようだいするわけです。旅行もおわり、勉強に精を出すことにします。(あくまでもつもりです)

磯貝 文江(十五)

やっと二年生に押し上げられました。いやといっても仕方がなく、単位を取ってしまった以上、不変の真理(?)である。二年のクラスは二〇八、担任は三輪車である。音楽部でこわいお兄様の一人、石原君と同クラス。私はヘビににらまれたカエルのごとき存在である。少し心をいれかえて、クラブに出席する決心をさせられてしまった。(石原君の威圧にカブトをぬぎました)

6月のメモ

名古屋地区

◇ヴォーカライズでは…

・18日(日)にハイキングをします!! 二ページを見て下さい!! お忘れなく。

・合唱団の練習日は、1.8.15.22.29日の各木曜日です。

・誕生日を迎えるのは、原(六) 松沢(六) 小出(十二) 鈴木茂(十二) 林(十三) 二井(十四)の皆さん

・「Vocalize」55号は、十日ごろ発行されます。編集委員は水野令、森本両さん、12ページに会員名簿を添える予定。

◇音楽会へ行く人のために…

△ピアノVではウィーン三羽鳥の一人、イヨルク・デームスが3日(土)文、△オーケストラVは、日本フィルが12日(月)13日(火)公、新世界、ベートーヴェンのV協など。大谷例子、加納純子を一度おききになるのもいいだろう。△ヴォーカルVは今井久仁恵とジョバンニ・トミのジョイントが8日(木)名、△コーラスVハーバード大学合唱団は23日(金)公。

△ポピュラーVものは、ラテンコーラスのトリオ・ロス・パラガイヨスが19日(月)、藤沢嵐子が15日(木)、アイジョージが24日(土)から27日(火)まで。

◇映画ファンには…

タリアビーニの「忘れな草」と、ミーナの「歌え!太陽」が、スカラ座で上映されるはず。「ロイヤル・バレエ」は未定。



AKCヴォーカライズ 合唱団のページ



私たちの合唱団

四月二十日より練習開始

このところ話題の中心だった私たちの合唱団は、四月十五日の創立総会で正式に発足。四月二十日から毎週木曜日の夜を練習日に、旭丘高校鯨光館を根城として、「大いなる未来」への歩みを始めました。気軽に、楽しく歌える仲間たちの合唱団として、皆さま方のご参加をお待ちしております。とくに、女声はソプラノ、男声はバスを優遇(?)します。もちろん、アルト、テナーでも大歓迎。

・練習日 毎週木曜日
PM 9時～8時
・練習場 旭丘高校鯨光館
控え室
・会費 必要に応じて徴収
・合唱団スタッフ
指揮者 水野俊彦 (六)
責任者 森本 進 (十)
リーダー 岡嶋 孝 (十三)
高橋昭弘 (十三)
・団員資格 だれでも加入できます。
ただしAKC関係者は、ヴォーカライズ会員であるよう望みます。

§ 合唱団あれこれ §

◎都築先生のいわく「うまくなかったらシテイコーラスへ入れるか？」冗談じゃありません。こちらこそ名古屋随一、いや全国一の合唱団になれるのに、こともあろうにシテイの二軍扱いとは……と一同大憤慨。

◎「会費を集めても使いようがないな」：自前の指揮者がそろっているの、会費は当分集めないですみそう。「だけど、菓子でも買って食うのはいいぜ」賛成者ばかり？

◎第一回の練習日、久しぶりに大声を出した新団員たちの心からなる述懐は……。「最後にみんなで校歌を歌ったら、なんだか急に涙が出てきて困ったわ」感激家でロマンチストの多い合唱団なのです。

第一回練習スナップ



ヴォーカライズ合唱団

第一回の練習に参加して

四月二十日、木曜日。名古屋時間の午後六時に、体育館にはいりました。感心なことにもう始まっていて、遅刻でした。第一回の第一曲は「赤い靴」混声四部。久しぶり……ほんとうに久しぶり……に、合唱したあの気持は、なんともいえない、何か、人生がパァーッと開けたような、とてもうれしかったです。

岡嶋君の指揮も相当なもので、彼に忠実に歌ったつもりです。音楽部を通じて仲良しになった二人にも、これから一週間に一度は会えます。これから、もっとたくさんの人をひっぱろうと、張りきっています。

問題は練習場所！ 当分はタヌキさんをバカして、鯨光館の裏でやることになりましたが……。先にお断りしておきます。タヌキさんとの交渉の全権大使には絶対応じません……。あしからず。

(藤野 絢子)

募集

- ・合唱の好きな人、男女多数
- ・スマートでりっぱな団名

宇賀溪ハイキング

A K Cヴォーカライズ・名古屋地区
本年度第二回の「つどい」は、つぎの
とおり宇賀溪ハイキングで行ないます。
郊外の山野の中で、みんなで歌うのも
またいい気分のもです。狭い器楽室
で顔つき合っているときは違った
会員の一面が、きつとうかがえるこ
とでしょう。ぜひ一緒に行きましょう。

記

目的地 宇賀溪(三重県員弁郡)

期日 昭和36年六月十八日(日)

集合時間 午前八時十五分

集合場所 名鉄デパート

正面入口前

出発時間 午前八時四十分発

近鉄急行

帰着時間 午後五時五十二分

名古屋駅着

交通費 往復三百三十円

昼食 持参してください。

連絡 一応の参加人員を調べますか

ら、同封のはがきで六月五日まで

に連絡願います。

電車の入線時間の関係で、集合時

間に遅れぬようにしてください。

雨天の場合は下記の「つどい」に切

りかえます。

ハイキング当日

雨が降ったら…

六月十八日が雨天の場合は、つぎ
のように「ヴォーカライズのつど
い」を開きます。

・とき 六月十八日(日)

PM一時～

・ところ 旭丘高校音楽室

・かいひ 五十円(当日徴収)

・目的 茶菓費にあてます。

・目的 室内ゲームと合唱練習な

どを予定していますが、いいプラ

ンがあつたら出してください。

なお、今年度のつどい担当委員は

鈴木道郎(十二)です。

会費を納めて下さい

昭和三十六年度の、ヴォーカ
ライズ会務を順調に運びますた
めに、三十六年度分会費をでき
るだけ早くご納入下さいますよ
うお願い申し上げます。

この会費は、機関紙「Vocalize」
発行費および郵送費をはじめ、
各種通信費、その他、会に必要
な事務費にあてられます。会費
の額は

高校在学学生 二百円

一般会員 三百円

です。

大事ナ、大事ナ、お知らせノページ

会長(浅井幸三)会計(神藤敏子)
かその他の委員のいずれかへお納め
ください。

郵送される場合は、ごめんどうで
すが十円切手でお送りいただきます
よう(六月一日から、現金を普通郵
便に封入できなくなります)お願い
します。

また、つごうで分納されることも
認めますが、三回以内の分納で、九
月までに完納するようにしてくださ
い。

今月、はがきを同封してあるの
は、名古屋地区会員だけです。か
ら、ご承知ください。東京、大
阪地区の方へは来月同封し、以
後は、全会員を二つのグループ
に分け、一回ずつ交代にコーラ
ス用はがきを同封する予定です。
これは、毎月「コーラス」を読
みたいというご希望によるもの
です。必ずご記入、ご返送いた
だきますようあらかじめお願い
いたします。

コーラス用はがきについて

AKC ヴォーカライズの 61 年度を占う 会員のメイ易断

前口上

もしも、もしもデス。自分の予想や予言がピタリと当たったら、さぞや通快でしょうね。「黙ってすわれればピタリと当たる」と、大時代なセリフは抜きにしても、ケイ眼、真眼のメイ士ぞろいのヴォーカライズ会員が占う、わがヴォーカライズ 36 年度の歩みは？ そして発足したばかりの合唱団は？

山カンあり、科学的推論あり、悲観説、樂觀説あやなす、その卓絶したる易断を、とくと味わってみるのもまた一興。俗にいうじゃありませんか：「当たるも八卦当たらぬも八卦」と。

〔設問〕①合唱団はどうなるか

②会員は何人になるか

③その他あれこれ

(註) 設問に不手際があり、②の会員数を、合唱団の人数として解された方が多々ありました。しかし、ここでは、寄せられたとおりの回答を掲載することにし、合唱団員、会員数の区別はしてありませんので、ご承知ねがいます。



神藤 敏子(十二) ①ぐんぐんとのびるでしょうね。②30人くらいじゃないかしら。

安田 軍二(十三) ①ビッコを引き引き 62 年度へ。②81 人。③当たったら賞品でももらえるのならば、もつと考へますがね

鈴木 茂(十二) ①当初二年間は難航。それを乗り切れば、次第に順調な活動が続けるであろう。その根拠は、浅井会長の去就と、在校生の成長が待たれるから。そして三年目に水野さんの行方に注目され、一転換期がこうよう。

②一年目は 20 人止まり。

浅井 幸三(五) ①細々と通う道なり

：。とてもじゃないが、まだ合唱コンクールで一位をとれようとは思いません。一年目はつづれなきやいいんです。②名簿の上では 80 人ほどに……。③結婚する人が五人。ただし残念ながら仲間同士のオメデタはなし。そしてなおめでたいことには、会員のみんなが元気で、まだまだくたばる人は出ないこと。会館は設計図もできない(これだけは当たる)

松沢 暢夫(六) ①細々と続くであろう。息もたえだえに！②81 名。③会誌は最低 12 ページ、平常 16 ページになろう。

増田 容子(六) ①占いなどには弱いので。ただ、これまでより皆の協力が大になって、発展していくような気がするようでも楽しめます

原 まき子(六) ①楽しいものができ続くことでしょう。②30 人ぐらい。太田 岸子(十五) ①放送局からひっぱりにくるぐらいになる。②21 人。

中尾 桂二(七) ①少人数でならうまくゆくだろう。②5 人前後。

上前 佳子(八) ①今年度末にはどうにか始められるでしょう。②希望者は 30 名、出席者 10 名。③とても熱心な方が努力してくださいますが、会員集めで困られそう(すすめません、ヒカンので)

永井 充(八) ①とても楽しいタベのつどい。ティーラ ラッタララーラ ②みんながいつぱい！ ③マゾフシエ合唱団じゃないけど、歌って踊るってのはいいかが！ モイセーエフみたいに跳びはねてみたい！

千本木宣子(十) ①占いは吉と出たり。ますます盛んになることまちがいなし。②占えという方が無理です。神のみぞ知る。

大橋 佑子(十) ①ゆつくり序々に大きくなるでしょう。

当たるも…当たらずも…‘61 年はどうなる？

③ヴォーカライズの編集は、やはり浅井先輩のニオイを残して下さい。これが会員のほとんどの希望となるでしょう。

森本 進(七) ①きつと歌を歌うでしょうね。たいていなら混声合唱でしょうが、男の人が多いでしょうね。そのくせへたでしょうね。つぶれはしないでしようが、歌よりも食った方がいいとおもうでしょうね。②88人。

鈴木 道郎(十二) ①十一月に第一回定期演奏会を市公会堂(ではできないから中区役所ホール)で挙行。②100人までは行かないが、88人程度にはなるでしょう。③エヘへ、景気は一時好調を保つが、七月ごろから十二月ごろまで横バイ状態をつづけ、一月ごろになってやっと調子を取りもどす。

渡辺 義彦(十一) ①まずは順調にある程度うまくなるでしょう。②88名。③前半盛り上りを見せ、後半ちよつと停滞か？

藤野 絢子(十三) ①なごやかなふんいきで発展する。②100人突破を願います。

近藤 譲子(十三) ①期待しているほど盛大にはならないと思う。②20人ぐらい。

二井真智子(十四) ①きつと成功して楽しい合唱団ができると思います。②きつとたくさんでしょう。③この合唱団の中から素晴らしい歌手がうまれる、いいと思います。

服部 修(十二) ①最初は困難性と不安な面も考えられるが、強い団結でもってもりたてねばならないと思う。岡嶋 孝(十三) ①皆で一生懸命やっつけてひ続けたいと思う。週一回キチンとするのは無理かもしれないが、どうにかやれると思う。

川村 朋子(十三) ①きつと楽しい合唱団が生まれ、序々に成功するでしょう。②88人ぐらい。

林 茂樹(十三) ①世の中に名が売れて申し込み者が殺到するだろう。②88名になるだろう。③浅井氏の結婚問題解決！―思わぬ人とゴールイン―

志水 照代(十三) ①大きく発展する、絶対に。皆の毎日が楽しくてたまんなくなる。②だんだん大きくふくれていく。マンモス化？

増田 禮(十三) ①大ぜいがいつも練習することはむつかしい。でもそうするよう努力すべきです。②20人？

水野 公子(十三) ①これからもズーッと続く。②30人にはなるでしょう。③会費50円で赤字になりませんか。

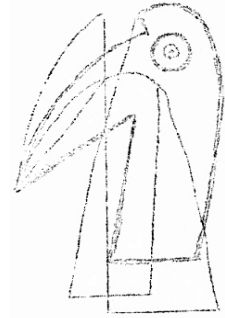
平山 葉子(十四) ①一年後：東海メールクワイヤーをしのぐ実力を身につける。三年後：国内演奏旅行は勿論、海外旅行でうんと名を売る。五年後：ニューヨークフィルと第九を共演。②申し込み者が殺到するので、厳格な審査のち入団を決める。

山崎満寿枝(十四) ①きつとすばらしいコーラスになるでしょう。②約88人磯貝 文江(十五) ①少しずつでも成功にちかづく。②88名以上。

谷 美保子(十四) ①皆の心がけ一つで決まる。②88名

高橋 昭弘(十三) ①最初は景気よく発足するでしょう。二年度中はかなり順調にいくんじゃないでしょうか。団員の不足に悩むでしょうね。少ない団員の中で十三期の人が最も活躍しそうですね。②88人。③今度のような「会費のいらないつどい」が何度も開かれるであろう。

仲良くしようネ



あさいこうぞう

またまた会長をやるんだそうで…一生懸命「引退説」やら「墓場行き説」で予防線を張ったかいもなく、ガツカリしているこのごろです。「若さと健康（美貌だと、なおいいのですが）」がハヤリのこのごろ、なんとも奇妙な現象と申し上げるよりありません。しかし、毎年毎年、よくもまあ、はり合いのない男に期待をかけてくださるものだと、一面では感激？もしています。

ことしから、希望の合唱団も発足し、会員数は七十五人に達しました。こうなると、わがAKCヴォーカライズもいよいよ大メンバーをかかえ、十年以上の差をもつ会員層となり、どうまとめ上げていくかが問題となってきました。十人十色とはいいますが、まったく七十五人七十五色で、実に多種多様、いろいろと変わった意見があつて、面くらっているのです。というのは、この間のはがきアンケートを見ての感じなのですが……。

昨年度で印象に残った記事を……という質問に、松沢君の「51号に寄せて」とコーラス欄、「ヴォーカライズ新春の夢」「浅井会長のプロフィール」が多くあげられたのは予期どおりでしたが、編集部が会員をおどかすつもりで企画した「会員便覧」には賛否両論、これからの方向として打ち出した編集部の座談会、対談増設案にも「つまらない」という反対があつたり、第三回の巻頭詩には「継続すべきだ」という声が集まつたり、「続ほたる草」支持票もあり、「招待席C」批評も読まれていたりで……。

こうした多岐にわたる会員の希望、意見をどう生かしていくか、となると、たいへんむずかしいことで、その都度、その都度、みなさんから指示していただくよりしやうがなくなることでしやう。そうした意味で、ことしの委員が、少なくとも「Vocalize」の上での実績本意で選ばれたことに、私たちは一つの光明を見出すことができるのです。若手の会員諸君が中心になって事に当たっていけば、おのずから新しい方向も生まれるでしょうし、それにつれてまた新しい力も加わってくることでしやう。

個人的なことをいうと、私はこししばらく落ちつかない日々、満たされない生活が続けていました。それが「Vocalize」

に一カ月半余の空白をもたらし、なおかつ、こうした味気ない文章しか書けないしこりとなつて残っているのです。でも、編集分担制になる来月からは、一人がいかにスランプで悩んだとしても、会員みんなに影響しないうちに食い止められることでしやう。「つどい」の面をはじめとして、これからは休みなく多様な企画が打ち出されることでしやう。……ただ、それが成功するかどうかは、やはり会員の皆さんしだいなのです。もし、一つの試み、企画が成功したら、ことしの若き委員たちは、元気づき、力づけられて、さらに前進を心がけるでしやうが、一つをつまずき、会員の皆さんに支持されなかつたと意識するときにあつたら……。

委員を選んできたのは、会員の皆さんです。会員の務めは、委員を選ぶだけで終わるではありません。選ぶことによって始まったのです。皆さんの多くの声が、委員を励まし、働かせる原動力となるのです。

そうしたことは、皆さん自身がよくご存じです。あえていうまでもないのですが、それを実行してくださるようお願いいたします。

招待席 C

予期した成果なし…と

招待席の打ち切りを決定

終幕を飾った

春の行事

四月から五月にかけての「招待席C」は、つぎのとおり、それぞれ一、二名の会員を招いて行なった。このうち、ゲバントハウス、ニューヨーク両交響楽団の演奏会招待者は、さきの役員選挙投票者から抽選によって決まった方たちである。

◇ライブチヒ・ゲバントハウス管弦楽団

四月二十四日夜・名古屋市公会堂

招待者 加藤幽香子（五）

◇ニューヨークフィルハーモニー交響楽団

四月二十九日夜・名古屋市公会堂

招待者 岡嶋 孝（十三）

同 水野公子（十三）

◇二期会「京響オペラ」ドン・ジョヴァンニ

五月十六日夜・東京産経ホール

招待者 加藤厚子（十二）

◇アルトゥール・エイゼン（バス）

五月二十一日夜・名古屋市公会堂

招待者 内藤 毅（十五）

なお、委員会では「招待席C」の成果があがっていないと判断、中止することになった。

プロフィール

お花見を希望する方は、彼のところに行ってください。すばらしいお花見ができます。澄んだテノールを聞かせてくれますし、おもしろいお話をしてくれます。とにかく楽しい人です。

彼をバレーボールから引っぱり張ってきたのは、増田禮さん。少ない男性にあつて、彼のごとき天才をユウワクした彼女は、クラブの恩人といっても過言ではありません。

実に三度のご飯より（この辺はまことに微妙ですが…）歌が好きで、在学中、試験の前日でも一号室からは必ずといつていいくらい、あのテノールが流れてきて、通る人々を楽しませたものです。それでもやはり彼も人の子で、入試前にはすっかり静かになっちゃって、物足りない感じを持たせました。

音楽に関することなら何にでも手を出します。クラシックからジャズまで、一人で楽しみ、そして皆と鑑賞いたします。彼の大きなぶさいくな手が（失礼）鍵盤の上でしなやかに舞うのをみてビックリし、ギターをかかえるとその手ともみじのように小さくなるのをみて、ほんとうに楽しい思いがします。

このように、とても器用な人で、口八丁、手八丁です。…彼と皮肉のいい合い

ウィットと皮肉…

高橋 昭弘 君

たかはし

あきひろ

（13期・委員）



をやつてごらんない。勝つ見込みゼロです…でも、その割りに細かい、やさしい人です。晴の舞台に、どこからかパクってきた片ちんばのゾウリをはいて、両手をゴソゴソ動かしながら立ったところに、また彼の別な人格がのぞいています。思いきり遊んで、すうっと上にいっちゃつて…その名大でも、はや、安田氏や上田氏とともに合唱団にはいつて、活躍の土台を築いています。そのうちに、今度はドイツ語でやらかして、ますます楽しくしてくれるだろうと大いに期待してそして私たちも、彼とともに、もつともつと歌いたいと思っています。

プロフィール

ヴォーカライズ合唱団の推進力

おかじま たかし

岡嶋 孝 君

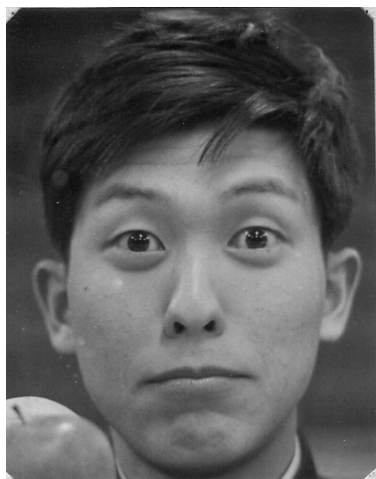
(十三期)

「カンゲンの響きにぎわしく」と歌えるようになった彼は、すごい努力家です。何のことか、彼とともに合唱した人はご存知のはず。これは「流浪の民」のテノールソロの部分です。皆さんも一度大きな声で歌ってみて下さい。なるほどむずかしいです。にもかかわらず、練習のときに彼がここを歌った初めは笑ったりして……。それが、秋近くにはすばらしくうまくなって、全くその努力に敬服したものです。

といって、決してカタイお人ではありません。高橋君と二人でしゃべっているのをこっそりお聞き下さい。マンガイです。彼は長靴の好きな人で、気が変わると、おてんとう様が愛想よくしていても、大きな長靴でドタドタ……。シンちゃん刈りがイカす彼は、その風変わりを買われて、高橋君とともに新設合唱団の中心人物としての活躍を要求されましたが、いつもの調子で「オレ、シランゾー」と、髪をボソボソ。でも、きつと期待にこたえてくれると

思います。

素朴で、飾ることをしらない彼ゆえ、思ったことは単刀直入に言つてのけます。が、そんな彼に対するすごい人気の原因も、つき合ってみると、ほんとうによくわかります。二年の途中に「今でも彼がいつ転部してきたのかなぞですが」バドミントンから抜け出して、いつのまにか入り、最前列に腰をすえて、入ってくる人物を一人一人あのドングリ目でジロジロ……。なんてあつかましい野郎（ごめんあそばせ）だろうと腹を立てたのは初日だけ。この人がいなかったら、音楽クラブは、こんなにも楽しく発展することはできなかったであろうと、あらためて感謝したいような……。これがいつわりない話です。



Invention

○：お久しぶりですね。……というのは、つまり、その……それだけ私がサボっていたということなんです。……ごめんなさい。いっになく、早く手をつけたのに、突如、そして長いスランプに見舞われて、どうにもならなくなってしまうたのです。そのために、編集が一貫しないで、支離滅裂になってしまいました。あしからず。

○：えっ？ スランプは何が原因か、とおっしゃるのですか。それがわかれば、私だって一月上ウロウロしてはいません。精神的ショックだろう、などと勘ぐる方は、慰めにきてほしいですね。

○：そんなせいもあって、予定したものの一部を落としました。「みんなの歌」「会員名簿」「招待席Cの感想」などなどです。

○：今月は写真が五枚はいつています。いづれも裏面ナンバーによって、所定の欄へおはり下さい。（うち二枚は前号分です）また名古屋地区会員にははがきを同封しました。あて先は、55号の編集者である水野令子さんになっていますが、あて先がだれであれ、必ず一〇〇パーセント返送されるものと確信しています。

(あさい)

1961.6.15(木)
VOCALIZE
No 55

AKCヴォーカライズ機関紙

編集 浅井幸三

ふる
みち
古
径

三木 露風

古径は我胸のごと
月光(つきかげ)の下に照らされ
春の暮、山のあなたに
影暗く長につづけり

いつの日か深くも路を
石喰みて車過ぎけむ
二条(すじ)に軋めるわだち
痕のみぞ黒くのこれる

想い出のあいたましき
あとを見よ、日々に朽(く)えつつ
滅び行く愛の胸には
かなしびのの小草ぞしげる

月青み、夕べとなれば
またおもふ、山の古径

デジタル注・一部をネット資料により訂正。

6月の演奏会 名古屋

◆クラシック◆ポピュラー■ステージ

◇イヨルク・デームス・ピアノ演奏会
3日夜 文化講堂

◇今井久仁恵・ジョバンニ・トミ ジョイン
トリサیتال 8日夜、名鉄ホール

◇ロマンチック・コンサート

指揮桜井園生 名放管 松野柿一(P)
高階由美(A) 12日夜 文化講堂

◇日本フィルハーモニー交響楽団演奏会
指揮渡辺暁雄、ルイ・ブレーシー(V)

12.13日夜 市公会堂(友の会)

◆藤沢嵐子と映画「ヨーロッパの夜」
15日夜 文化講堂(芸文)

◇三音会第一回作品発表会 名放管、西崎

燐子・永長次郎、加藤恵美子

■歌劇「夕鶴」指揮 團伊玖磨 ABC響、

大谷、加納、宮本ら17日夜18日昼夜

市公会堂(労音A・B)

◆トリオ・ロス・パラガーヨス公演
19日夜 市公会堂

◇ハーバード大学グリークラブ演奏会
23日夜 市公会堂

◆大橋節夫リサیتال
23日夜 文化講堂(ロータリー)

◆ブラボー アイ・ジョージ
24.25.26.27日夜 市公会堂(労音C)

◇ピアノ・クインテット演奏会
プロムジカ弦楽四重奏団 田村宏(P)
25日夜 CBCホール(音楽サロン)



この欄はAKC出身者みんなの近況を知らせ合うためのものです。だれのことも、どんなことでも、ぜひ委員までお知らせ下さいませ様に

◇…船木弥子さん(七)は五月十四日、左記へ転居された。

川崎市戸手町×××

◇…安井邦夫君(十二)はこのほど、止宿先をつぎのとおり移られた。

京都市左京区岡崎真如堂×××

◇…溝上崇子さん(七)旧姓桜山は、伝えられていた「ヴォーチェ・アンジェリカ」への加入をやめ、「フランス歌曲研究会」一本で進まれる。なお、「うたのおばさん」(NHK第一、朝8:45)

六月のおけいこの歌は、ご主人の溝上日出夫氏の作曲によるもの。

◇…本年度より、ヴォーカライズに加入された方をご紹介します。(既報分は除く)

・鈴木 寛(六) 鈴木貿易

名古屋市中区百人町×××

・大川由美子(十) 田光中学

名古屋市中区向陽町×××

・森 泉(十) 高橋ベニヤ商会

春日井市出川町×××

旭丘ニュース

・上田 勤(十三) 名古屋大学

春日井市旭町×××

・白木 倭子(十五) 学大附中出身

名古屋市中村区広小路西通×××

・津坂 絢子(十五) 桜丘中出身

名古屋市中区古出来町×××

・内藤 毅(十五) 振甫中出身

名古屋市中区北千種町×××

・宮部 杏子(十五) 学大附中出身

名古屋市中区隼人町×××

◇…本年度第一回学力テストは、六月五日から五日間実施された。引き続き恒例のクラスマッチが十二日から五日間の予定で行なわれるので、AKCの練習は約一カ月のブランクとなる。また、六月十三日には遠足がある。

◇…いままで同好会であった「器楽部」が新しくクラブに昇格、器楽練習室のうち五号室のみを器楽部にあてていたのを、新たに練習室の分割を申し入れられ、AKCでは対策に苦慮している。AKC側では「器楽部の方がポピュラーなものをやるので人気があるから」と弱気だが、これからは練習日程にも大きく割り込まれるのは必至、受けて立つAKC側の態度に注目したい。

私の好きな詩

三木露風「古径」

水野令子

これは、いつだったか忘れましたが、労音の例会「にほんの歌」のとき、中村浩子さんがアルトのやわらかい、美しい声で聞かせてくれました。あとから、詩を何度も読んでいます間に、この底に流れるしみじみとしたもの(回顧しているような気持)が、ひしひしと胸にせまってくるようで、とても好きになってしまいました。

私は、詩を朗読することがへたで、口に出してはめったに読みませんが、この詩だけは特に例外です。

誕生日おめでとう(6月)

・六月一日	原 まき子(六)	26歳
・六月九日	二井真智子(十四)	18歳
・六月十日	鈴木 茂(十二)	20歳
・六月十三日	内藤 毅(十五)	17歳
・六月十四日	小出 幸子(十二)	20歳
・六月十九日	松沢 暢夫(六)	26歳
・六月三十日	林 茂樹(十三)	19歳

宇賀溪ハイキング

前号でお知らせした通り、つぎのよう
に宇賀溪へのハイキングを行ないま
す。緑の山野を、ともに歌いながら歩
こうという趣旨です。多数の皆さんの
御参加をお待ちします。

記

とき 六月十八日(日)

集合時間 午前八時十五分

集合場所 名鉄デパート

正面入り口前

出発時間 午前八時四十分発

近鉄急行

帰着時間 午後五時五十二分

名古屋駅着

ところ 宇賀溪(近鉄一三岐鉄道利用)

ひよう 交通費 往復三百三十円

その他 昼食は各自持参して下さい。

また「ヴォーカライズ歌集」第一

集もご用意願います。当日合唱団

でつくりました第二集をお渡しす

る予定です。

雨天の場合

午後一時より、旭丘高校音楽室に
於て「ヴォーカライズのつどい」
を開きます。会費は五十円です。
なお、歌集はこの場合もご持参願
います。

以上

Vocalize

この夏の計画

A K Cヴォーカライズでは、七
月下旬か八月上旬にキャンプ
(二泊程度)をし、会員の親睦
をはかるとともに、コーラスの
練習をしようと計画しています。
名古屋地区の企画ですが、東京、
大阪両地区からの参加も大歓迎
します。詳細は次号に発表しま
す。会員の皆さんからのご意見
なりご希望なり(場所、日程な
ど)を伺いたいと思います。委
員あてにお申し伝えくださいま
すようお願いいたします。

とかく「お知らせ版」的になり
がちな Vocalize の穴埋めに、別
冊号として全会員の随筆集をこ
の夏休みを目標に発行したいと、
いま委員が検討しています。こ
れは、過去二回発行された「ア
カペラ」を継承するものでもあ
りますが、会員の皆さんが一人
一編づつ、思い思いの随想を出
しあつて、読みごたえのある
「Vocalize 増刊号」にしたいも
のです。詳細は56号紙上に掲載
します。

キャンプ

「Vocalize 増刊号」

会費を納めて下さい

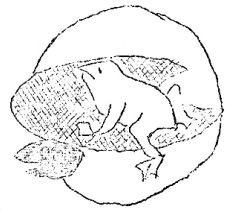
54号でもお知らせしましたが、
三十六年度の会費をできるだけ
早く納めていただきます様、お
願い申し上げます。会長・会計・
委員のいずれかにお納めいただ
けば結構ですが、郵送されます
場合は、必ず十円切手にしてお
送り下さいますようお願いし
ます。会費は、
高校在学学生 二百円
一般会員 三百円
です。分納されます方は三回

以内の分納で、九月までに完納
するようにして下さい。
九日現在で会費を納められた
方は、次の方々です(前号分を
除く)。領収書は発行いたしま
せんが、ご協力に感謝します。
〔完納者〕 園部靖子(十) 加藤厚子
(十二) 川村朋子(十三) 鈴木道郎
(十二) 浅井幸三(五) 森本進(十)
〔分納第一回分を納められた方〕
加藤久美子(十五) 津坂絢子(十五)
宮部杏子(十五)

おくり先
会長(浅井幸三) 会計(神藤敏子)

お知らせのページ

Chorus



5月下旬-6月上旬
到着順

毛利 豊(五)

目下、能力以上の仕事を押しつけられ、ノイローゼ気味。つまり、今までの販売担当地区(長野、名古屋市内、尾張地区)のほかに岐阜県が加わったため、動きがとれず、ノイローゼと相なった次第。これからまた、トンネルばかりくぐって(飯田線、中央線、高山線)粉はいらんかなも…。夜はお客相手に酒(飲めないつらさ)、麻雀の接待接待接待ですが、からだは元気です。

森本 進(七)

近況：気ばかりあせて何もできぬ。卒業できるかどうか、チョイトばかり心配である。予定：そこで、六月のはじめは卒論のため近江へ調査に行く予定である。その他の予定は全く当てにならないが、三十日N響、六月は「夕鶴」とハーバード大学の合唱に出かけるつもり。

石黒 鋒子(十二)

近況：試験のないときはいつもニコニコしています。

予定：夏休みにはあちこちのクラブの合宿に参加して、大いに旅行を楽しむ予定

宣伝：六月十一日の名古屋地区合唱祭に南山大学女声コーラスもデビューします。どうぞよろしくご声援下さいますよう！

水野 令子(八)

先日、会社の男の方に連れられて、男性が真剣なまなこをもつて対決されるところ「パチンコヤ」を訪れました。その騒々しいこと、騒々しいこと、気も狂わんばかり、チャンジャラジャラ、リンリン、マイクの声やら「東京ドドンパ娘」のレコードetc. 十五分間じっとしていましたら、頭がボーッとしてしまいました。しよせん百円札とかえられた小さな玉に、大きな人間が牛じられているのです。全くつまらないかぎりということをつくづく思いましたから、ある意味ではいい社会勉強でしたが、ヴォーカライズの諸氏には、もう先にご承知のことでしょう。

安田 軍二(十三)

久しぶりの休講に気をよくして、午後から高橋君ら四人で桜山のサロンチェリーにはいり込む。目的は？…残念ながら、僕が授業中も寝ずに、苦心してとったノートを彼らに公開するため(ボクはうんとマジメなんだから)

アイスウオーターだけで出てくるほどの心臓の持ち合わせがないので、わけのわからない名前ものをよって、あまり高くないのを四種類注文した。ウェイトレスが二回ばかり聞きなおしにきた。

近くのパチンコやへ高橋とはいはる。あんまり時間をもてあましていたので。ところが、悲しいことに「安田の三戒」とかいようなものにパチンコがはいっている。それをだれかが宣伝して皆に知れわたっている手前、することもできず、となりで泣きそうな顔をして見ていた。口は災いのもとというが、めったなことはいうものではないとシミジミさとした。

浅井 幸三(五)

長いこと、気持がすっきりしないです。やはり年ごろともなると、いろいろ悩みごとが絶えないせいでしょう。そしてそのうさばらしに、最近「浪費の楽しさ」を覚えました。でも、依然として

精神的にスランプです。何かいい打開策か、それともよき相談相手を紹介してください。

適齢期になったため、縁談もないではないのですけれども、ぼくはまだ披露パーティーをやれそうにありません（皆さんのご期待にそえなくて残念です）。しかし、先日、Iさんに「早く相手を見つけないさい」といわれたときにはガックリ。そしてショックでした。あまり「オトナ」をいじめないでください。

鈴木 道郎（十二）

・津というところは、ホントにクダラナイところですよ。学校もつまりません。なんせ津駅では弁当も売っていませんから。

・一日の六分の一を電車の中で（走ってるのですヨ電車が）、八分の一をバイクで過ごしています。だから勉強する？ ヒマありません（遊ぶヒマはありませんが）。

・展覧会に出かけても、音楽会に出かけても、みたされないままで帰ってきてしまいます。とにかく、何をやってもツマラナイ毎日です。

加藤幽香子（五）

五月二十六日、「大きなコイビト」と奈良の室生寺をたずねました。新聞の切り抜きいわく「杉木立の山あいには、ひしひしと山の冷気が身にしみ…」名文句につられたのは私たちだけではないはずだと思ふのですが。川に沿った途中の道は、伊勢湾台風でこわれたので、目下修理中。ひどいのなんの、お腹の皮に作りそこなったオハギをくつつけてはうような、といった方が適当なバス旅行でした。山の冷気は三十度からの暑さに溶かされて、ポタポタ汗のしずくになり、名物の「しやくなげ」もすでおそく、奥の院への石段は四百段と聞かされて目を回した、揚げ句満員電車の立ちん坊でやつとご帰館。

わが家で足を投げ出してる「小さな奥サマ」のセリフ「ネエ、涼しいときにまた行かない？」

磯貝 文江（十五）

今、私の気持はクラブへ出たい！
こんど、クラブでは一応NHK合唱コンクールに参加します。すぐこんどの一、二年は仲がよい（？）ので、クラブ内での話し合いのとき、一年の発言はじつに活ばつです。いつまでもこの状態が続きますように。

私もクラブでおもしろい歌がうたいたい。クラブの楽しさが身をもつてわかりました。
ネムイメヲコスリナガラ：オヤスミナサイ

大橋 佑子（十）

近況Ⅱ卒論のテーマ決定。あとは野となれ山となれ。ケ・セラ・セラです。四年生とはあまり学校へ行かないものらしいです。週三時間で、おもだったのはゼミだけです。おかげで、きょうは学校へ行く日だったしら？なんて、トボけてしまう日があります。

etc.Ⅱ54号には何とコーラスが多いんでしょう。全くオドロイテいます。いろいろな人の近況がうかがえて楽しいのですが、それだけで終ってしまわないで、コーラスを通して会員の意見の交流ができるものかしらと思ひますが、いかが？。

森 泉（十）

長々ごぶさたいたしておりましたが、仕事の方が一応おちついてきましたので、ヴォーカライズに入会させていただきますことにしました。皆さん仲よくしてくださいね。

高橋 昭弘 (十三)

近況：ヒマがありすぎるのに金がなさ過ぎて何にもできません。ヒマはいっぱいあるはずなのに、何か忙しくてたまらないみたいな感じです。そのくせ勉強は全然してません。

予定：そろそろ勉強を真剣にやり始めるつもりです（アクマデ「ツモリ」デス）。

宣伝：ここに一人の有望な大学生あり。若さと美貌、そして情熱！ 家庭教師にどうぞ。

演説：何ゆえ、社会はかくも一人の人間をいかすことを知らないのか…。

風聞（風聞とはどういうことかわからないけど）…この間、広小路で政

防法反対のビラくばりをしました。きれいな女の人ばかりに渡しました。

（コレ、ウソ）

etc.: 明日 (三日) は、政防法反対のデモストレーションのため授業放棄するそうです。政防法バンザイ。（コレモウソ）

藤野 絢子 (十三)

決算期を迎えて、全く息つく暇ナシ。遊ぶひまなんてこれっぽちもないのに、その方のスケジュールもぎつしり。われながらタフだとかんしんしています。

五月三十日は中日球場、三十一日は

旧友に会います。一日は学校、二日はお茶、三日はダンスを習いにいきます。四日はいつものお買い物、すべて夕方七時からの予定。睡眠不足が気にかかりますが…。

勤めて二カ月、二回目のお給料もいただいて、だいぶB Gスタイルも身につけてきました。とはいっても、どこへいっても中学生にみられるので、もうれつにいやです。

上 前 佳子 (八)

初夏もたけなわ(?) 五月中は連日の家庭訪問で真っ黒。生来の黒さにブラスされ、つややかな黒さです。このごろは、ただもう夏休みを楽しみに、ひたすら戦そうの毎日です。（近況）

六月十一日に横園先生の演奏会があります。会場費が払えないと、なげいておられましたので、多く買ってくださるよう（買うだけでもけっこうです）たのみます。（宣伝）

水野 公子 (十三)

このごろは週一回のピアノレッスンとダンス創作とでユウウツ、だれか手伝って下さい。

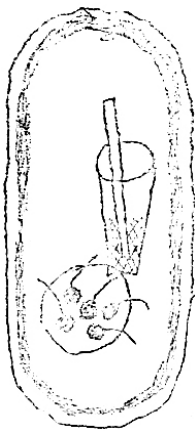
増田 禮 (十三)

近ごろ、毎日の自分の生活に物足りなさというのか、一種の寂しさを感じます。これから夏というのに「寂しい」とは全く季節はずれの感があります。それから、いっそう木曜日のコーラスが待ち遠しくなりません。なかなか都合がつかず、よく休みますけど、とにかくこのコーラスは、今、私の唯一の楽しみといっても言いすぎではありません。

林 茂樹 (十三)

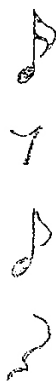
毎日勉強を追っています。六月は試験ばかりで全くウンザリ。最近遊び過ぎのせい(?) か、六年生の弟と腕の太さが一緒になってしまいました。どなたか肉のつくウマイ方法を御存じないか？

先日ニューヨークファイルとグルミオーの大きな写真をもらい、大喜び。さっそく額ぶちに入れ神様扱い。一度お参りしたい方は拝観料を添えておいでください。



AKCヴォーカライズ

合唱団だより



四月二十日から練習を始めた私たちの合唱団は、その後順調(?)に練習を重ね、まもなく二ヶ月になります。人数は常時十五人程度というこじんまりしたもので、十三期生が中心になっています。曲は最初のうちは平易なものを、という方針で中学生程度のものから始めております。そのうちにオラトリオくらいまでいきますから、ご期待下さい。

練習は午後六時からということになっているのですが、皆さんお忙しいものから六時半にならないとはじまりません。指揮の岡嶋君が一人やきもき「早くこんななあ」という顔をしていることしきり。日によって各パートのバランスがずいぶんちがいますし、バスはいつも人がおりませんので、「我輩はテノールなり」とすましているわけにはいかないのです。出ない低い声をわりして出すにいたってはオンボロバスもエンコしてしまつてピンチになるのです。でもまた女の方をこの車にのせるところまではいってませんからご心配なく。

練習のあいまには鯨光館でバレエボールだのサッカーのできそこないだのバスケットボールだの何でもして運動することができまし、ピアノをひくこともできます。日本ひろしといえども、こんな楽しい合唱団は他にないだろうと思えます。どうぞヴォーカライズ会員の皆さま、木曜日の夜、お遊びにおいでください。

・今後の練習曲の予定(これは正式のものではありません) Ⅱラッソ「マトナの君よ」、ワーク「おじいさんの古時計」、ハイドン「老いたる人」、関忠亮「美しき祖国のために」、メンデルスゾーン「緑の森よ」、同「狩人の別れ」、ブラームス「日曜日」など。

・会費Ⅱ五十円(多分二カ月で五十円ということになると思います。) 原稿。用紙、楽譜の費用にあてます。

募集

合唱団員 全パート歓迎

ソプラノ、バス大歓迎 多くの方々の参加をお待ちしています。

団名 スマートで立派なもの

今だに名なしでこまつております。

7月のメモ 名古屋地区

◇ヴォーカライズでは…

・合唱団の練習日は、6.13,20,27日の各木曜日です。

・誕生日を迎えるのは、浅井(五) 鈴木寛(六) 水野令(八) 石黒(十二)の皆さん
「Vocalize」56号は、十日に発行の予定、編集委員は鈴木道、高橋昭両君です。コーラス用の葉書は、東京、大阪両会員向けです。

◇音楽会へ行く人のために…

七月は学生や一般のアマチュア合唱団の演奏会がたくさん催されます。そのほかでは、東響が3日(月)公に久々にアサヒビルコンサートをひらきます。NHK弦楽四重奏団と伊藤京子の「オペラの歴史」が14日(金)15日(土)、地元のピアニスト加藤博子のリサイタル 20日(木)などが主なものです。

△ポピュラーでは、ハワイからくるケント・ジラードとパール・ポリネシアンが13日(木)公で、音協の主催で来演します。これは八月には労音でも催すはずです。それに雪村いづみが帰国後はじめて名古屋へきます[22日(土)23日(日)公] 日本フィルのムードオーケストラは25日(火)26日(水)公に来演します。

◇映画ファンには

ガーシエインの「ボギーとベス」は六月13日(毎日ホールで上映されています。それに「ロイヤル・バレエ」(未定)がみものでしょう。その他「歌え!太陽」「忘れな草」など。

私たちの職場…ききある記

名古屋鉄道病院

足立孝子さん（6）の職場

ひとくちに「白衣の天使」といっても、看護婦さんの仕事はなまやさしいものではありません。最近ようやく、看護婦さんの存在、待遇、労働条件などに世間の関心がむけられるようになったものの、ずいぶんと苦勞の多い、そして報われることの少ない仕事のようなものです。

そこで、名古屋鉄道病院の看護婦である会員の足立孝子さん（六）に、仕事のこと、ご自身のことなど、尋ねてみました。

インタビューの状況をすべてお知らせできないのは残念ですが、この断片からでも、十分に足立さんのお人柄、仕事に注ぐ情熱はわかっていただけることでしょう。

きき手 水野 令子（八）

浅井 幸三（五）

足立さんの略歴

昭和十年十二月十二日生まれ、二十五歳、幼いころから看護婦を志し、あずま中学、旭丘高校から岐阜高等看護学院に進み、甲種看護婦となる。岐阜大学附属病院、名鉄病院をへて、昨年十一月名古屋鉄道病院に勤める。独身。（第14号のプロフィールを参考にして下さい）

「私、小さいとき、弱かったのですよ。

病院生活も多かったのです。四回ぐらいい入院しているのですよ。だから、そういう小さいときの病院生活で受けた印象というものが、すごく強かったのかもしれないのですが、やはり白衣への一つのあこがれだったのでしょうね。小学校のころから、もう看護婦になりたいという気持ちだったのです」

足立さんは、静かに、そして丁寧に話をする人だ。ぞんざいな口調は一度も聞けない。

「勤務は日勤と準夜と夜勤の三交代なんです。深夜勤は夜十二時半から朝の八時半まで、日勤が八時半から四時半まで、準夜勤が四時半から十二時半までなんです。八時間労働で、暇なときに一時間休憩をとるのですけどね、仕事に追われてなかなかとれないのですよ」

夜勤なら夜勤が五日から一週間も続くので、はじめて夜勤をやったときは、一週間で三キロもやせたそう。

「五十人近く患者さんがいるのですが、看護婦が八人なんです。絶対安静の患者

さんがいますでしょう。そういう人たちには食事を食べさせてあげなければならぬし、下（シモ）の方の世話もしてあげなければいけないし、ベッドパスもするのですよ」

しかし、一番氣を使うのは、精神的な面、

「どうしても患者さんは、自分の病気に関心を持っていらつしやるでしょう。聞くことも聞くのでしようけれども、いろんな本を買ってくるのですよ。いまでも「家庭医学」ですとか、そういう本を読んできて、ほんとうによく勉強しているのです。へたなこと答えられないわけですね。不治の病とされているガンとか、ああいう病氣は本人には知らされないんですけれど、本人は大体感ずるわけですね。それを、私たちの口から聞こうとするわけです。先生は逃げてしまわれるのでしよう」

うっかりほんとうのことも言えず、返事をごまかすのに一苦勞する。なかなかつらい立場だ。「あこがれだけで、これから看護婦を選ばれるのでしたら、やめておかれた方がいいと思います」という足立さんに、看護婦の地位とか待遇とかを聞いてみると

「そうですね。たしかに労働の割に賃金が低いと思うのですよ。国鉄は比較的

いいという評判なんですけれど、前の病院なんかはほんとうにひどかったですね。でも、夜勤をしても、一週間で五百円ぐらいしか手当てがいただけないのですよ。むかしは、いやしい身分の人が看護婦になったんですね。だからまだまだかなり看護婦の地位が低いのです。このごろは比較的よくなったのですけれど、いなかへいくとまだ根強いのですよ」

西洋の歴史では、金持ちの夫人などが、暇をみて手助けしていたのだとかナイチンゲールの精神といっても、生活の保障がなくてはとてと足立さん。生活の心配のなかったナイチンゲール時代の看護婦と、いちがいに比較されては迷惑するの当然で、老後の生活も保障されないようでは、看護に没頭できない。

結婚しても続けるつもりかと尋ねると「出来ましたら、やっていきたいと思っています。いまはこの病院でも、結婚してもできるように大体なっていますし、それでなければ通らないですからね。いままでも、看護婦と患者さん、看護婦とお医者さんという組み合わせで、よくゴールインなさっていらつしやる方がありますよ。でも、私は、看

護婦对患者さんという立場であくまでもその線をくずさないつもりでいるのです。だから患者さんを結婚の対象に置いたことは全然ないのですよ。愛情にはそんなことはないといわれるかもしれませんが……」

足立さんは、「まだいい人があらわれないのでしょ」と軽く体をかわしたが、「足立さんは結婚したのと違う？この前会ったとき、ご主人らしき人と一緒に歩いてたわよ」という人がいたと話すと、「アア、あのときのこと……」と大笑い。

忙しい勤めの余暇には、文化活動などもしている。いまはコーラスはやっていないが、

「私は、書道の方をやっているのです。毎年文化祭をやっていて、ぜひそれに入選したいと思うのですけれども……。級がとれるのですよ。」

学校時代から「書道」では鳴らした足立さんのこと、本人はいたって控えめだが、ことしの文化祭では初参加にして高位入選はまず確実といえる。いま一つの楽しみは「旅行」。なにしろ国鉄職員の肩書きがきいて、交通費の心配がないのだからうらやましい。

「この前、大阪へ行ったんですよ。ヴォーカライズの皆さんに、ぜひお目にかかりたいと思ったのですよ。でも、いつ

もごぶさたしているのに、そんなときだけ電話したりしては悪いでしょう」

こんなところにも、いかにも足立さんらしい遠慮深さがみられる。

最後に、目標なり抱負なりを、といったら、

「婦長とかそんなものになりたくないのですよ。患者さんから親しまれる、そういう看護婦になりたいと思っています。」

まさに完ぺきな答え。聞いている方がため息をつくばかりだ。「ナイチンゲール賞でも？」と聞いたこちらが恥ずかしくなってしまう。「ナイチンゲール賞も、もつと若くて美しい人に出すようにしなければね」というと、そんなのは問題外とばかり、にこやかな笑いのうちに黙殺」されてしまった。

編集者の責任を感じてか、きき手の水野令子さんは、とても熱心に、そしてまとういた質問を放っていた。その水野さんは「足立さんってほんとうに看護婦さんにピッタリね。私なんか、自分の仕事について、あんなにりっぱに話すことできるのかしらん」と感じいていた。もっぱら雑音係の私はニヤニヤしながら聞いていたもので、もし、このまとめ方が悪いとなると、これまた責任問題でお二人に顔向けできない。(六月五日夜・今池「スギウラ」で)

ADIEU

シャ・ン・ソ・ン

歌でゆくふねをーおくるわにー
 聴こえ つかい わかれ だけれ どもー なみだ をかくしてゐ願ひ
 くるー ふなでに泣いていけないうも のを ア ヲ わすれ
 ないでー ア ヲー あもい おしてー じんばにふか
 くあひしたと てー あてにはならぬひとのこころー ア
 二 泣いたとくも 二 ア ヲー かき ぬき ぬき
 二 せめてあの日を 二 淋しき日を
 ぼくまのまを 二 は なれて いたと
 つ い とし い おもか げは こころのともれ び アー
 いつかはあえるそのひに つー わたしはー ひト

今月の

編集者の

おねがい

△：今月から皆さんのご希望により職場訪問を始めました。タイトルの「私たちの職場：ききある記」は仮名でありますので、何かよい名をおしえて下さい。このシリーズは途中で挫折することのないようにしたいものです。皆さんのご意見、ご希望などを委員までお寄せ下さいますようお願いします。

△：みんなの歌にとりあげる歌は、皆さんの希望の中から、一般の楽譜として手にいれることのむつかしいような曲をえらんでおります。編集者のさかしうる範囲にも限度がありますので、ご希望を寄せられますときには、作者などもお書きそえ下さい。

△：今月はプロフィール用の写真がしめきりに間に合いませんでした。次号と一緒に送りましたのでご承知下さい。撮影メモも次号でお知らせしますから、そのおり、空欄に御記入願います。

△：コーラス用はがきはB5通のうちB5通しか帰っておりません。未投函の方はなるべく早く投函して下さい。

プロフィール

チョコチャン、お元気？ 今日私は私達の部長さん内藤君のことをおしやべりするわね。彼の名前は毅（つよしだ）と思う：編集者（とあるが、次号でたけしと訂正）。一見まじめでとってもおとなしそうにみえるけど、事実は人なみに横着よ。でもとってもおちついていて。そして体の方までゆったりとしてて：。

こんなこと聞いたら彼おこるかもしれないけど、身長一七〇センチ体重六三キロというんですもの。それに末っ子らしいの。こんなこというとスポーツなんかにとっても縁がないように思うかもしれないけどとんでもない、彼は「球技なら何でもござれ」なの。昨年のクラスマッチでハンドボールがあつたでしょ。あの時の彼のすばらしいフォーム。「ああ写真にとっておくべきだった。」ってくやんだ女性がたくさんいたのよ。（というのウソ）おかげでハンドボール部からさそいの手がさかんにのびて、私達をヒヤヒヤさせたものよ。「内藤君がやめるなら、私達もやめるわ」なんていって道郎さん（本年度副会長鈴木道郎君（十二）＝編集部）をこまらせちゃった。でも鉄棒とマット運動はだめなの（わかるでしょ）。まだこの間までは「ハンドボール ハンドボール」ってうるさかったし、「どう

して音楽部へはいっちゃったのかな」とか「どうして僕なんか部長にしたんだろう」ってよくつぶやいてたけど、近頃は「今年はNHKのコンクールに出るんだ」ってすごいはりきりようよ。それにクラブ対策委員長となつて生徒会の方でもがんばってるわ。

合唱の練習のときの彼をおしえてあげようか。彼ね、テノールのまん中にデンとかまえて、まゆをチョイト寄せて歌うの。彼が委員会の仕事で練習に出てこないときなど、クラブのまん中に大きな穴がすっぽりとあいちゃったようよ。（事実共にね）

また夏がくるわね。彼には夏やせなんて関係ないけど、貴女は気をつけてね、では又ね。

ハンドボールの名手

内藤 毅 君

ないとう

たけし

(15期・部長)



プロフィール

美声のギタリスト

のむら けいこ
野村 圭子さん
(十三期)

前歯がちよつとあそんでいて、ジャクリーヌ・ササールの様な感じのする人、それが「ノンちゃん」とこ野村圭子さんです。そして十三期のソプラノナンバーワンであることは、今更いうまでもないことです。

「ノンちゃん雲に乗る」というと、「乗ったらおっこちやうわ」という如く、ふつくらとしたお嬢さん。でもこの体だからこそ、あんなにすばらしい声が発せられるんだと思うと、たまらなくたのしく感じられます。明るくて、親切で、美人で、頭がよくて、スポーツは万能で、…そしてもともとずっとすてきなのは、ギターを弾きながら歌ってくれること。そんな時の彼女は一番楽しそうです。

二年生の文化祭…といっても台風のために音楽室でしかできませんでしたが…には思う存分ソプラノの美しい声をきかせてくれました。講堂でやれなかったのは実に残念ですが、そのうちヴォーカライズの合唱団できっときかせてくれると期待しています。おし



やべりも歌と同じくらい好きで、クラブ活動中も最後列でペチャクチャとやって、よくお小言をちようだいしました。そんなきさくなどころが、同級生にも下級生にも人気のあつた原因でしょう。

みかけによらず(なんていうと、叱られちやうかな)手芸のような細かい事が好きで上手です。彼女の部屋には、ぬいぐるみが愛らしく飾られていて、彼女のやさしい性格がしられます。ステレオのそばにおかれたギターには、音楽好きな彼女と、一人っ子の寂しさをこのギターでなぐさめている彼女の様子が感じられ、何も語らなくても自然に彼女をつかめそうな雰囲気をもし出しています。

目下、名市大の合唱団で活躍中の彼女は、ヴォーカライズの有望な新人の一人です。

Invention

○：予定よりも5日程おくれましたが55号をお送りします。おくれたのは編集委員がお互に相手まかせにしたためで申し訳ありません。来月の委員はきつと予定どおりに発行してくれるだろうと思います。

○：今月のみんなの歌には作曲者すら書いてありませんが、楽譜のまた写しです。もしかしたらオタマジャクシの位置さえちがっているかもしれない。歌ってみておかしかったら、適当に直せとの提供者の達しです。

○：内藤君のプロファイルの原稿は二通うけとりましたが、いつもとはちがった趣がありましたので手紙文の方を採用しました。もう一通は公式(?)どりの文でしたが、これは前者をひきのぼすのにずいぶん助かりました。書いた人はもちろん同一人です。編集者は彼女に大いに感謝しております。最敬礼

○：今月十八日のハイキング、夏のキャンプなど会員の親睦のための催しもどしどし開かれます。これらの催しを有意義なものにするため、皆さんはできるだけ都合をつけて参加してチョウダイ。

○：このところ気候不順ですから、皆さん健康に気をつけて下さい。

編集者 水野令・森本

1961 7 15(土)

VOCALIZE

Vol. 56.

AKCヴォーカライズ機関紙

編集 浅井幸三

しほのね
潮音

島崎 藤村

わきてながるゝ
やほじほの
そこにいざよふ
うみの琴
しらべもふかし
もゝかはの
よろづのなみを
よびあつめ
ときみちくれば
うららかに
とほくきこゆる
はるのしほのね

岩波「藤村詩抄」より

Vocalize <56号>

- 必ず読んでもらいたい項目
- ・ニュース(異動・会合など)
 - ・「アカペラ」第三号を発行します
 - ・白樺湖でキャンプをします
 - ・8月のメモ
 - ◇コーラス(東京大阪地区)
 - ◇諸物価値上がりに関するアンケート(同)
 - ◇座談会「新入社三嬢にきく」
 - ◇みんなの歌「アル・ディ・ラ」
 - ◇プロフィール 白木倭子さん
 - ◇プロフィール 石黒鋒子さん

7月の演奏会

名古屋

◇クラシック ◆ポピュラー ■ステージ

- ◇田村宏とプロムジカ室内楽団演奏会
11日夜 CBCホール(音楽サロン)
- ◇アサヒビル・コンサート
東京交響楽団、指揮 上田 仁
3日夜、市公会堂
- ◇フランスピアノ音楽とコーラスの夕べ
ピアノ山田 忍、コーラス 幸声会
8日夜 中小企業センター
- ◇労音コーラス、オーケストラ演奏会
9日夜 市公会堂
- ◆ケント・ジラードとパールズ・ポリネシア
13日夜 市公会堂
- ◇二期会合唱団による「オペラの歴史」
独唱 伊藤京子、森敏孝、石津憲一
14、15日夜 文化講堂(労音B)
- ◇グリーンエコー演奏会 16日昼 市公会堂
- ◇NHK弦楽四重奏団演奏会
17日夜 市公会堂(労音A)
- ◇加藤博子ピアノ演奏会 20日夜 文化講堂
- ◆百万人の夕涼み 七彩の水とドラマ
白木秀雄、ジョージ川口、朝日奈愛子ら
21日夜 振甫ホール(芸文)
- ◆雪村いづみリサイタル
ブルーコート、ウィリー沖山、有光洋二
ら 22、23日昼夜 市公会堂(労音C)
- ◇平井丈一郎チェロ演奏会
23日昼 CBCホール(音楽サロン)
- ◇日本フィル・ムードオーケストラ
25、26日夜 市公会堂(友の会)



この欄はAKC関係者みんなの近況を知らせ合うためのものです。だれのことでも、どんなことでも、ぜひお知らせ下さい。

◇…東堂紀美子さん(十一)のお父さん正隆氏(安田海上火災本社)は、脳溢血のため、六月十五日逝去された。

◇…水野令子さん(八)は、鼻の手術のため、六月二十三日池下の彦坂耳鼻科病院に入院、経過は良好で、七月十二日退院された。会社へは七月二十日ごろから出社される予定。

◇…金谷京子さん(九)は、お父さんの転勤で一家が秋田から東京へ移転したので、止宿先を引き払い、左記へ転居された。

東京都中野区××× 電話×××
◇…泉谷美紗子さん(十二)はこのほど、左記に転居された。

名古屋市北区田幡町×××

◇…永井 充君(八)は、相次ぐ交通事故に頭を悩ましている。即ち、六月二十二日には昭和区荻原町で左後輪を溝に落とし、六月二十四日には瑞穂区川澄町でオート三輪に追突され、七月八日には東区高岳町で小型貨客車に接触された。車はブルーバード。合唱の

帰途であった。

◇…六月十八日、宇賀溪のハイキングが行なわれた。風が強かったが、まあまあのお日和。参加者は総勢十人、委員会の手想をはるかに下まわった。「つどい」には必ず顔を見せていた浅井会長が勤務のため出席できなかったり、殊に(不手際もあったが)、在校生の参加者が2名に止まったりで、はかばかしくない成績を残した。それでも、集まった連中は、大いにその目的を達したようで、重装備のハイカー達に混って、楽しい一日を過ごした。

【参加者】 卒業生 永井(八) 鈴木茂(大阪支部) 鈴木道、横橋(十二)、川村、志水、水野公、安田(十三) 在校生 白木、内藤(十五)

宇賀溪へハイキングにいきました



○宇賀溪・砂山頂上にて
○撮影者 永井充 (八)

安田 川村
水野公
白木
茂 内藤
志水
横橋
永井

私の好きな詩

島崎藤村「潮音」

加藤 厚子

この詩は島崎藤村の若葉集中に収められている作品で、私の最も好きな詩の一つです。この詩を知ったのは、家を離れて初めて迎えた今年の私の十九回目の誕生日に、上級生がバースデーカードに書いて下さったからです。この詩は藤村の文学活動の初期の作品であり、それだけに若さや、青春の歓び、希望に満ち溢れている感じを受けます。ホーム・シック気味で、淋しい夕方など、キャンパスに一人ねころんでこの詩を口ずさむと、本当に気が晴れ晴れとします。淋しい方は、誰方でもどうぞ一度、この詩を朗読して下さい。きっと元気が湧いてくるでしょうから…。

注・印刷物に無かった最終行「はるのしほのね」を補記した 岡

誕生日おめでとう(7月)

七月五日	鈴木 寛(六)	26 歳
十三日	石黒 鋒子(十二)	20 歳
十四日	石井よし子(九)	23 歳
十六日	服部 修(十二)	20 歳
二十四日	水野 令子(八)	24 歳
三十日	浅井 幸三(五)	27 歳

Vocalize 増刊号

「アカペラ」発行について

AKCヴォーカライズではかねてより、「Vocalize 増刊号」の発行について検討中でしたが、先日の委員で左記のように決定致しました。この、「増刊号」は、とかく「お知らせ版」的になりがちな「Vocalize」の穴埋めに、全会員の随筆集とするものです。例えば一行でも結構ですから、全会員の皆さんの寄稿をお待ちします。

記

◇題名 「アカペラ」第三号

◇内容 堅苦しいものはできるだけ避け、会員一人一人が一篇の随筆を寄せて下さることを希望します。

◇体裁 B5判（わら半紙二つ折りの大きさ）100ページ

◇締切 八月十日

◇発行 九月一日（予定）

なお、題材は自由で一人四百字詰原稿用紙三枚を原則とします。

註 「アカペラ」は以前二号まで発行された随筆集で、今度も、それを引き継ぐものです。

●ヴォーカライズの夏の行事二つについてのお知らせです。一つは「アカペラ」発行、一つは白樺湖キャンピング。どちらもこれからのヴォーカライズにとって、大切な行事です。会員の皆さんの多くの参画を期待します。

●三十六年度の会費を、お納めいただきますようお願い申し上げます。会長・会計・委員のいずれかにお納めいただければ結構ですが、郵送されます場合は、必ず十円切手にしてお送り下さいますようお願いいたします。会費は、

高校在学学生 二百円

一般会員 三百円

たいせつなお知らせのページ

です。分納されます方は三回以内の分納で、九月までに完納するようにして下さい。

九日現在で会費を納められた方は、次の方々です（前号分を除く）。領収書は発行いたしません、ご協力に感謝します。

【完納者】 加藤幽香子（五）原まき子、藤井容子（六）永井充（八）千本木宣子、森泉（十）石黒鋒子、神藤敏子、小出幸子、鈴木茂、高橋洋子（十二）志水照代、安田軍二（十三）谷美保子（十四）白木倭子、内藤毅（十五）

夏です 山です キャンプです
霧ヶ峰から白樺湖へ

前号でもふれましたが、次の要領で白樺湖キャンピングを行ないます。会員相互の親睦をはかると共に、ハイカー気分を満喫し、且つ、大いに歌おうというものです。名古屋の皆さんは勿論、東京大阪両地区の皆さんの参加も、大いに歓迎します。多数、御参加下さいませよう。

記

期日 8月12,13,14,15日（二泊四日）日程

出発 12日22時42分名古屋発準急 13日早朝 下諏訪（バス）↓和田峠

↓霧ヶ峰↓車山↓白樺湖（泊）

14日 湖畔で合唱強化練習（泊）

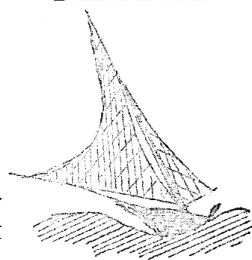
15日午後 白樺湖（バス）↓茅野

帰着 15日21時23分名古屋着

費用 三千円程度

詳細は、参加者によって決定したいと思います。なお、参加を予定される方は現地との関係もありますのでお手数ですが、至急浅井幸三まで御連絡下さい。

Chorus



6月下旬分 到着順

鈴木 茂 (十二)

今年から同志社混声合唱部（略称C
CD）へ入部しました。C CDと早稲
田大学混声合唱団との定期交歓演奏会
が六月十日、京都会館で行なわれた。
六月十日というのは僕の二十歳の誕生
日ということで、皆から大いにおごら
れ、おごらされして、早稲田の人たち
とも親しくなりました。来年は東京で
早稲田との演奏会。その節には、東京
の会員の方々、よろしく願います。

溝上 崇子 (七)

梅雨とやらでよく雨は降ってくれま
すが、夫婦どちらも売れなくて、もう
夏枯れ状態です。恵みの雨ならぬ仕事
がどこから降ってこないものかと毎
日待っています。

七月のいつか、NHK (?) テレビ
でシャブリエの曲「音楽への賛歌」を
歌います。（もちろんコーラスガールで
す）

加藤 厚子 (十二)

夏休みまであと一週間足らず。適当に
授業をエスケープして楽しんでます。
先日の早慶戦は二回とも出かけて、真っ
黒こげに焼けました。夏休みは軽井沢で
の特殊講義に出かけます。その他はダン
スをマスターして、テニスを少し練習し
て、アルバイトをして、などと考えては
いるものの、どうなることか。ヴォー
カライズ合唱団にも臨時会員として参加
したいと思っています。

藤井 容子 (六)

近況〓おんつつがなくお過しです。
予定〓クルマをあてる予定（クイズで）
宣伝〓大阪つてすばらしいトコロ。
論説〓人生は楽しくゆかアーいにいきま
しょう。

etc.〓リズがアカデミー賞を、豊田はベス
トテン2位。ああうれしい。

松沢 暢夫 (六)

LONDONが出したバックハウスに
よるベートーヴェンのピアノソナタ全集
を買いました。録音はあまりよいとはい
えませんが、ベートーヴェンのソナタに
イカレている僕にはとてもよいレコード
です。現有のレコードは、このほか映画

「南太平洋」のサウンドトラックだけ。

「バツハからソーランぶしまで」をモッ
トとする僕は何でもききます。そして
何にでもカンゲキするのです。「東京ドド
ンパ娘」をかうといったら、寮の相棒に
猛反対されたのでまだかえません。いつ
か、彼のスキをみてかうつもりです。ど
なたか正調日本民謡のレコード、ご存じ
だったら教えて下さい。

会社は残業につぐ残業でクタクタです
が、病気になるひまがないので、何とか元
気なフリをしていきています。

谷 美保子 (十四)

毎日がこわいくらい早く過ぎていきま
す。そして日に日に試験が近づくことを
考えるとゾッとします。そのくせ、ちっ
とも勉強していません。でも何が何で
も東京へ行かなくては私は窒息します。
こんな修猷なんていうところに行ってい
たら…。

話は変わりますが、NHKの合唱コン
クールに出るそうですね。ラジオで全国
放送するくらいまで、ガンバって下さい
ね。

渡辺 義彦(十一)

七月八日にわが阪大混声合唱団の演奏会。それが終ると小豆島合宿。夏休みには時間があればヴォーカライズ合唱団で歌ってみたいと思っております。

わが団では、機関紙を改革し「くさぶえ」というのを隔週に発行しとりますが、いろんな点でヴォーカライズ誌をマネました。「詩」や「こんげつの音楽会」など。やってみてつくづく思ったのは、これを今まで一人で編集していた浅井さんの力量ですな。大したものです。一昔前には音楽部の部室にのさばっていたのに、もう何か遠い世界のことみたい。またいつか暇なときに、あの部室や音楽室を見に行きたいです。

園部 靖子(十)

キンキョウ……六月十二日より二週間、中学校の国語の先生になっていきます。連日三時間授業を持たされて閉口しています。「先生」ってよばれるのもマンザラではありませんネ。やさしい先生か？ って。

それはもうご想像におまかせします。予定 etc……そんなわけで、目下ほかのこと考える余裕なし。明日の三時間の授業をいかにせんというこのみ頭

にあります。

若林 延昌(五)

暑いです。どうしようもありません。水の恋しい季節ですが、先日の大雨は困りもの。お宅は被害ありませんでしたか。ふるさとはいいもの。名古屋のことが気になります。

バイトを捜しています。いいのがあったらお教え下さい。電話×××

enquête

アン
デ
ー
ト

最近の諸物価値上がりは、あなたのこづかい帳(家計簿)に、どのようにひびいていますか。

溝上 崇子(七) 首つり寸前です。足代一つにしたって銀座まで行って帰ってくればもうざっと二百円かかるんですから。

加藤 厚子(十二) 東京にいと、どこへ行くにも電車で一時間くらいかかるのが普通ですから、まず第一に気がつくのは交通費の増加。それからラー

メン、ギョウザの値上がり。

藤井 容子(六) 物価とは上るものなりと思っておりますので別に。モンクを言う人(相手)がないし、言ったところで下がるわけなし、気をわずらうだけ損です。

松沢 暢夫(六) こづかい帳などというキチョウメンなチョウメンがないので、よくわかりませんが、感じとしてはあたかも昇給がなかったかのときカンジです。給料はいつも半月で使ってしまったとは無一文の生活なので、無一文にはなれているので値上がりはあまりピンとこないありさまです。

渡辺 義彦(十一) そんなことを考えている余裕はございませんわい。

園部 靖子(十) 先生というのは忙しいすぎてこんなことを考えてもいられませんの。あしからず。でも大いにえいきようはあるようですけども。

若林 延昌(五) 所得倍増↓物価倍増↓生活苦倍増 ∴ 所得倍増↓生活苦倍増。いや全く遊ばれなくなりました。AKCヴォーカライズ 郵送料をはじめワラ半紙代、原紙代、封筒代、インキ代：何から何まで、よくもまあ上るものです。財政ピンチ、早く会費を出してほし

私たちの職場：ききある記

新入三女子社員を囲んで

(十三期) 川村朋子・志水照代・藤野絢子さん

・・・前口上・・・

私の企画した「会員インタビュー」が、知らぬうちに「私たちの職場ききある記」とタイトルされたのには、寝耳に水の驚きでした。しかも、第二回は座談会でやるから出席するように(速記者として、ということらしい)と通知を受けたときにはなおなおびっくりしました。私はこのごろ、社でいつかる速記のアルバイトさえことわっているほど、月給分以外の速記はやらない主義なのですから、タダの仕事でこき使われるのは、いよいよ悲劇です。

今回の「新入社三嬢にきく」座談会については、その構成のすべてをまかせるといふ鈴木道郎編集担当のことばでしたので、私はそれを傍聴記の形でまとめることにしました。あえて座談会形式を逸脱するのは、さきに述べたとおりの事情によるものです。

以上、お断り申し上げておくしだい
です。
(編集部・浅井 幸三)

出席者

安田火災海上	川村 朋子 (十三)
富士製鉄	志水 照代 (十三)
旭可鍛鉄	藤野 絢子 (十三)
編集部	鈴木 道郎 (十二)
同	永井 充 (八)
同	浅井 幸三 (五)

◎今春旭丘高校を卒業して就職した三人の十三期会員も、早くも入社三カ月を経、どうやらそれぞれの会社になじみ、学校時代とは違った「自由と束縛」の中の生活を送っているようです。編集部の魂胆は、その三人のお嬢さんから失敗談と退社後から帰宅までのコースを聞き出すことだったようですが、それがうまく行かなかったのだから、お手上げです。

鈴木 どんな仕事をしているんですか。
川村 雑務です。
鈴木 雑務って？
川村 しゃべり出したらきりが無い。
鈴木 何課というの？

川村 みんな庶務でしょう。大体似てない？ 一般にお茶くみから書類作成…。

志水 私は電話交換とお茶くみが主な仕事。

鈴木 そうじゃないときは。

志水 いつもそういうことをやっているの。

鈴木 年じゅう、そんな仕事がある？ ぼさつとしているときない？

川村 ほとんどないネエ。
志水 電話がすぐあつて、ぼさつとしていたりやつつけられちゃうし、お茶ばかり出しているの。お茶専門。お客さんの顔見るとお茶に見えてくるもの。

鈴木 藤野さんはいつから課長秘書になったんですか。

藤野 今月から…。秘書といっても、小使いみたいなもの。

川村 庶務課でも小使いみたいなものよ。

志水 私たちも…。

藤野 一番おもな仕事は見積もり書を作成するんです。

◎Aはじめから、こういうふうだから、司会の鈴木君もやりにくそう。

鈴木君はかたくなって、三人にひっかき回されているV

鈴木 動機なんてあるかな。

川村 私はただ平凡なビジネスガールとして…。

志水 普通B Gといわれているあいう人種になりたいと思ったから…。大体栄町のまん中にあつて、ビルにあるようなところがいいなと思って。私たちがみたいなB Gといったら、会社の仕事とかおもだったことはやらせてもらえないでしょう。

◎△正直言つて、この辺は意外でした。確固たる目的、希望があるものと、私は思っていたのです。女性の就職は腰掛け…という俗言を、私はとりたくないからです。

鈴木 楽しみは？

川村 友だちと会ってしゃべること。

給料日のあとは、自分で行きたい音楽会の券を買ったり、音楽会に行く。

志水 私は、会社における楽しみとか、そういうものは、三カ月たつてよけいわからなくなっちゃったわ。終わりの時間がくるとうれしくなつて…。

川村 小さな仕事でも、一応会社の一端になつていと思うと、なんとなく自分がビジネスガールだなと思う。今はそう感じている。

志水 私は、自分の仕事に忠実に、自

分のやるべきことを一生懸命やつて、それで過ぎていけばいいんだと思う。もつと男の人みたいに、仕事をばりばりやれる能力があつたらなと思う。

藤野 営業所ということで、とにかく仕事を覚えなければいけないと思う。だれにいわれても、どんな種類のこともすぐできるように…それが一番つらい。もうほとんどできる。私、あき性でしょう。一つの仕事だけやるといや気がさすだろうと思って、小さなところを選んだのですよ。親会社の日本碍子の女の子なんかは、決まった仕事だけをやっているわけでしょう。そのかわり暇なときは遊んでいられる。そういう楽しみはないけれども、なにもおもしろいです。それを目的でいま会社に行っているからね。

◎△二人も女性がいると、知らぬ間に話が変わってしまうから不思議です。司会者がとまどうのも無理はありません。

鈴木 三カ月たつても、失敗する？

川村 多すぎて話せない。

藤野 失敗はいくらでもある。

志水 初めお客さんの顔がわからないでしょう。いろんな問屋さんが来て、会社の中をあちこち通るの。お客さんの顔で覚えるのじゃなくて場所を出して

いるでしょう。お客さんが場所を変えるとまたお茶を出して、あとから何回出すと笑われたけど。

藤野 郵便物は全部私が出すの。本社(静岡)へ出すのを東京の営業所へ送ったり、大阪へ送ったり…。急ぐときはすぐ間違えてしまう。見積書なんか、中部電力へ行くのがほかの方へ行くと、単価踏まれるといつて、そういうところを踏まれると、すごく弱みなんです。そういうときはどうしようかしらんと思つてね。

志水 私たちは、書類をきれいにリコピーしてくれと頼まれて、それを写すのを抜かしてしまつてね。あとから上役会議があつてうちの営業成績がいいだろうと、いばつていたら数字が抜けていたので、おれも恥ずかしかったぞと上役が嘆いていたけど、こちらもちがひがなかった。

◎△失敗談になると、がぜん色めき立つのは、やはり身にしてみる？せいかもしれない。新入社員共通の悩みでしょう。永井君がしきりと、そんな失敗して責任問題はないのかなあと、首をひねっていました。

鈴木 ここらで会社を出しましょう。終わるのは大体何時？

川村 四時に終わります。

志水 ほんとうは四時半だけど、大体五時頃までいる。

藤野 いまはずっと七時です。

鈴木 夜は何をするの？

川村 洋裁だけ。お花は会社でサークルがある。

藤野 お茶とお花だけ。悪いことばかりやっているのだから。

志水 私、お稽古サボって栄町ばかりぶらついている。

藤野 予定を立ててみると、一週間きちんと埋まっているのだから、月水金とダンスへ行くでしょう、火曜日はお花、土曜日がお茶で、木曜日は刺しゅう。

志水 私も一週間ずつと並べてみると、全部埋まっている。あいているのは土、日曜だけ。

◎△この辺の会話は、ちよつと聞き間違え、あるいは書き違えをしているかもしれない。なにしろ一気は一週間の予定をまくし立てるものだから、そんなことに縁遠い私は、アツケラカンとしていたためです。

鈴木 男の人に誘われたことある？

川村 一回か二回。私たちの男の人、話さないもの。

志水 結婚とかそういうことはまだ考えてないわ。それまでに好きな人が現われたらわからないと思うけど、考えるのは二十歳すぎだわ。

川村 何年くらい勤めてくれるかと、面接のとき聞かれてね、四年くらいといつてやった。そうしたら、二十二になつたらやめなきゃならないから、しまつたと思つていいる。

鈴木 そんなこと忘れてしまふでしょう。川村 でも案外覚えていいる。「川村さん、四年くらいでやめるんだらう、こんど来たらもういないな」って、転勤する人にいわれたり…。

志水 二十一の人が、ちよつとしたおばあちゃん扱いなんだわね。この前、二十五の人が結婚してやめたけど、すぐおばあちゃん扱いだった。

◎△どうもこの期のお嬢さん方には、早婚の気配が見えるようです。それにしても、藤野さんが、これについてはノーコメントだったのは気がかりですね。

鈴木 日曜日は？

川村 やっぱ遊びに行きたいし、家にもいないと…。一月に二回くらい出

ていつて、二回くらい家にいる。

鈴木 遊びに行く相手は？

志水 会社の外の、学校時代の友だちね。そういう人と遊んでいるだけだわ。そ

ちちの方が楽しいから。
川村 会社では上の人ばかりだから、ヴォーカライズへ行くと、すごくほつとする。

藤野 私は思わんね。

◎△結局、この日の結論らしきものは「人にいい感じを与えるようになりたい」ということで、まったく支離滅裂のうちに、時間切れとなりました。

十三期の人気娘を三人も集めたので、実は、同期の男性親衛隊が三人も付き添ってきました。いまにして思えば、その三人を追い返してよかった。さもなくば、よけい話がまとまらなかったでしょう。三人組（女性）の方は「あと味のよくない座談会だった」といい、編集部としては、なんとも手痛い失敗であつたと反省した会でした。

（七月六日・栄町「ニュー・ボーン」）

旭丘ニュース

◇…文化部対抗バレーボール大会が、六月二十六日から行なわれた。AKCは昨年優勝しているだけに、今年もその活躍が期待されたが、準々決勝で、これまた優勝の呼び声高い童話部に惜敗した。

◇…AKCでは、NHKラジオ唱歌コンクールに参加することを決定した。このため、七月十一日には都築先生のタクトで（この数年減多になかったことだが）課題曲を練習した。尚、コンクールは九月十日、名古屋女子商業高校講堂で行なわれる。

◇…旭丘高校は七月二十日から夏休みに入るが、これに先立ち、AKC夏期強化練習の日程を次の様に決めた。

七月二十日～二十五日
八月七日～十六日

いずれも午後一時半より
旭丘高校音楽室で

また、これと共に本年度文化祭のプログラムが決定された。特徴としては昨年と同様、例年の演奏部門に加えて、オペレッタを上演することである。主なものを拾ってみると、

混声合唱 指揮石原治「流浪の民」
など

男声合唱 〃 三輪貞寛
女声合唱 〃 加藤郁子

AKC短信

ピアノ独奏 白木倭子、宮部杏子
木琴独奏 太田岸子、加藤頌子
女声トリオ

男声カルテット

以上のほかに一年生（十六期）だけによる混声合唱を1ステージ用意する。これは昨年の「小規模な混声合唱」に代わるもの。

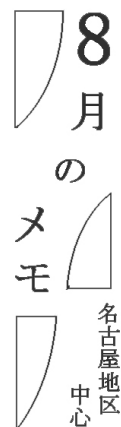
尚、オペレッタは、何を取り上げるかは決まっていないが、演出は石原治君（十五）がする模様。

◇…七月十三日、クラブ昇格なったばかりの器楽部が単独で演奏会をした。クラシック、ジャズ、ハワイアンとレパートリーも広く、好評を博した。

◇…七月十五日、合同演劇発表会が行なわれた。これは、本校、分校、定時制の各演劇部が新入生を迎えての公演をするもので、本校演劇部員の書いた「春雷」などが上演された。

◇…今年の常任指揮者である石原治君（十五）は、「タヌキに感じが似てる」とのもつぱらの評判である。指揮する格好、目つき、それにケチのつけ方までが、孫ダヌキ位に匹敵することである。

◇…最近AKCファンは、減りつつある。これに対処するためのオペレッタ上演となった訳だが、効きめやいかに…。



◇ヴォーカライズは忙しい…

・キャンプ〓十二日（土）の夜行で出発です。大ぜいでわいわいといきましょう。〓3ページを見てください〓

・合唱団〓練習日が土曜日の午後五時三十分から（旭丘音楽室）と変更されています。したがって5,12,19,26日が練習日です。

・誕生日〓溝上（七）神藤、泉谷（十二）志水（十三）太田、宮部（十二）の皆さん。

・Vocalize 57号=56号遅延のため、十日ごろになりそうです。編集は神藤（十二）加藤（十五）両委員。56号には半数の方々に

CHORUS用はがきを封入してあります。57号には残り半数の方へはがきを同封します。

◇音楽会は不景気…

いよいよもって夏枯れ、残念ながらあまりおすすめるものもありません。各例会が決まっている程度で、東フィルがドイツ音楽を26日（土）チャイコフスキーを27日（日）にきかせるくらい。あとはエレクトーンオーケストラ23日（水）24日（木）、宮城まり子20日（日）〓22日（火）岩崎洋と三浦洋一22日（火）で、まったくつまりません。

◇映画の中から…

・邦画で「夕焼け小やけの赤とんぼ」が出ます。マンガのファンには「安寿と厨子王丸」とデイズニーの「シンデレラ姫」があります。

みなさん もう御存知の通りこの歌は 1961 年イタリア・サンレモ音楽祭に第 1 位をとったものです。たまには新しいものもヨカンベエという訳でこれを取りあげてみました。一度歌ってみて下さい。

アル・ディ・ラ
荒井 基裕 訳詞
こんなにいとしいあなた
アル・ディ・ラ
よびおこしてみたいあなた
アル・ディ・ラ かがやく星
アル・ディ・ラ いつでも
なんて青い瞳
じつとみつめておくれ
アル・ディ・ラ
海の底までいっしよに
アル・ディ・ラ
地のはてまでいっしよに
アル・ディ・ラ 命をかけて
アル・ディ・ラ 愛する
命をかけて
いつまでも

AKCヴォーカライズ

合唱団だより



練習場をさがしています



◇：AKCヴォーカライズ合唱団では、毎週木曜日に鯨光館裏の控室で練習を続けていたが、このほど都築先生から、控室の使用を止めるよう、きついお達しがあった。この為六月二十四日から、音楽室で土曜日に変えて練習を続行。ところが、とたんに出席率が下がり、「やはり木曜日に戻そう」という動きが内部に有り、学校とも交渉するようにとの空気がうかがわれる。いずれにせよ、前途多難な我が道である。

●練習日を次のように変更します
。毎週土曜日 午後五時半から二時間
。場所 旭丘高校四階音楽室

募集

▲有力なソプラノ・バス・アルト・テナー
▲スマートでリッパナ、ステキな団名

訂正

※号の、内藤君のプロフィルのタイトル、及び、文中に「つよし」とありますのは「たけし」の誤りでした。お詫びして、訂正いたします。(訂正済)

プロフィール

大変 おにぎやかな

しらかし しばこ

白木 倭子さん

(十五期)

先ず初めに、名前を紹介します。本人を知ってる人には特に：。「しばこ」さんだそうです。あまりにも本人の性格と異なっていますので、念のためお知らせしておきます。

さて、彼女は、大変親しみやすく、いい人です。と、もっぱらでない評判です。また、真面目のようで不真面目のようでもなんともつかみようがなくて大変困ります(どういいうのでしょねこんなの？)。しかしクラブでは、現在、女声合唱の指揮と、伴奏で活躍しており、重要な存在です。

この人は大変騒ぐことが好きで(私の見たところでは遺伝のようで：いや失礼しました。)、いつも五、六人で騒いでいます。一年の時など、遠足のバスの中で騒ぎ過ぎて声が出なくなった程だそうです(程度、おわかりですか)。また、彼女は水泳が得意で、スポーツの中では最も好きで、休講になるとこっそり他のクラスに混って泳いでいます。今後の水泳大会を御期待下さい。

現在ソプラノで活躍中の彼女は、ソプラノの中心人物(ちよつと大げさかな)で皆をリードしているようです。近ごろ口ぐせのように、「めんどい」と言っています。初め、どういう意味かわからなかったのですが、「めんどくさい」という意味らしい。陽気のせいでしょうかね。あ、そうそう、大事なことを忘れていました。彼女、大変ピアノが上手で、毎年の事です。が、十月に文化講堂で演奏会をするそうですので、希望者はどうぞ：。でも、体育祭と重なりそうで少し心配ですが：。これからの、今まで通りの活躍を期待します。

六月のある日、一号室を訪ねたら、何かいつもと感じが違う。「どうも様子が変だね」というと「今日はシーチャン(白木さんの愛称)編集部」がいらないからヨ」と宮部さん。「ああ、それで、こんなに静かなんだねエ」ピアノは小津恒子に師事。駅前「信忠旅館」のお嬢さん。



ある日の昼すぎ、彼女のお宅へ電話でインタビューをさせて戴きました。今まで寝ていたとおっしゃる彼女ですが、中々テキパキとお話をして下さいました。

南山大学英文科、二年生。高校時代、卓球部から音楽部へ移られたこの人、大学でも今年の五月頃までは、卓球部と女声コーラス部とをかねていられたそうです。今はコーラスに専心とのことですが、それもこのサークルが合唱連盟に加わり、その渉外（合連委員）として活躍なさる様になったからだそうです。このサークルは、まだ出来たばかりで、今年から軌道に乗り始め、部員数二十数名の小じんまりしたサークルらしいのですが、アルトパートを受持つていらっしゃる彼女の活躍振りが想像されます。南山大学に於けるメイルクワイアの伝統に対するフィーマイルクワイアの今後が期待出来ましよう。

音楽における彼女の活躍は、歌のみでなくピアノにも及んでいます。今度、メンデルスゾーンの「無言歌」に取組むとおっしゃるから、その腕も相当なものと思われまします。そういえば、高校時代にも「青きドナウ」等の伴奏で文化祭にも活躍されたのを思い出します。

ベートーヴェン、ブラームス、ハイドンとドイツ古典音楽を愛好される反面、ハワイアンもお好きだとおっしゃる彼女です。ゲバントハウス、ニューヨークフィル、ハーバード大学のグリーククラブ等の演奏会を聴きに行かれたり、又、暇をみて英文タイプライターをマスターされたという程の、中々のファイトを持つていらつしやる彼女でもあります。

「今夜は、ハワイアンの「パール・ポリネシアン」を聴きに行くのよ」という、嬉しそうな明るい声を最後に、彼女の今後の、より一層の御活躍を願って、受話器を置きました。（珪子）

三十三年の文化祭、「ドナウ」の伴奏者に困っていた。その時快く引受けてくれたのがこの人。あの時は本トに助かった。地味な存在だけに知らない人が多いのじゃないかな。△みちお△

南山大女声合唱で活躍している

石黒 鋒子さん
いしぐろ さきこ
(十二期)



Invention

○：こんなはずではなかったのですが、また、発行が遅れました。まったく「申しわけない。」○：今月は、歌集と、写真を五枚（内二枚は前号のプロフィール用）同封します。歌集という程のガツクリしたものではありません、間に合わせの、ズサンなものです、ゴカンベン程を。写真は、先日のハイキングのスナップが一枚、残りは、シックスシリーズのもので。バックナンバーに合わせて、所定の位置にはって下さい。

○：今月の「会員インタビュー」ですが、座談会とシャレ込んだまではよかったのですが、聴き手の方が硬くなってしまつて、集まつて下さった三嬢も、言いたい事も言えなさそうだったし、同席を願つた浅井さん、永井さんにも、助け船を頼む始末で、まことに面目ない次第です。当夜出席して下さった方々に、深く感謝します。

○：キャンピング、アカペラ発行と、うよいよ、会員諸兄姉の個性豊かな活動が期待されることとなりました。これらの行事をより有意義なものとするため一人でも多くの皆さんの参加をお待ちします。今月の担当は、高橋、鈴木、浅井さんにはずい分、オンブしました。

1961. 8. 10 (木)

VOCALIZE

No. 57

AKCヴォーカライズ機関紙

編集 浅井幸三

愛について

安藤 一郎

日々私といっしょに
私の中から
一つの果実が熟れてゆく
その内部に ひそむ
蜂の巣の蜜房のように
整然とした構築
(あれも私と共に形成されているのだ)
輪形にふくらむ世界
金いろの瞑想と新しい官能を呼ぶ匂い
果実は 次第に軟(やわら)かくなる
或るときは あでやかに
あまりにも 明るく
中空に懸り
或るときは 孤独の暈(くま)を
めぐらし
地上に仰向く 私の額に
腫瘍のように触れる!
だが 私は
まだ この果実の重さを
測ったことがない

8月の演奏会 名古屋

◇クラシック ◆ポピュラー ■ステージ

◇名古屋放送管弦楽団市民納涼コンサート

18日夜 文化講堂

■こんにちは!宮城まり子です

チャーリー石黒東京パンチョス、劇団ひ

まわり 20日夜、市公会堂(労音C)

◆二台のピアノによるムードコンサート

ピアノ岩崎洋、三浦洋一

22日夜 文化講堂(芸文)

◇夏のスイートミュージックの夕べ

指揮 鷺見五郎、エレクトーンオーケス

トラ □田江美子

23,24日夜 市公会堂(友の会)

◇栗林義信バリトン独唱会

26日夜 CBCホール(音楽サロン)

◇東京フィルハーモニー交響楽団演奏会

指揮 大町陽一郎、ピアノ中川和義

26日夜 市公会堂(労音A) ドイツ音楽

27日昼Ⅱ 市公会堂(労音B) チャイコ

フスキー

9月の演奏会については、9月のメモ欄をごらんください。

Vocalize <57号>

- ◇お知らせのページ……………2
- ◇「真夏の随想」(浅井幸三)……………3
- ◇CHORUS(会員近況)……………4
- ◇アンケート 夏を涼しくすごす法……………5
- ◇「加藤清、幽香子夫妻にきく」……………6
- ◇みんなの歌「忘れな草」……………9
- ◇プロフィール 加藤厚子さん(十二)……………10

アカペラ原稿募集について

お知らせ

先号およびちらしでお知らせしたとおり、「Vocalize」増刊号として「アカペラ」第三号の発行を準備し、いまその原稿を集めています。毎月の「CHO-RUS」をもう少し長く書くつもりで、どうかお気軽にご投稿下さいますよう。みんなが必ず一つずつ出すことにしましょう。なお、つぎのとおり締切を延ばしました。

記

原稿締切 九月一日

発行日 十月一日

発行予定 題名「アカペラ」第三号

B5判100ページ 会員随筆集として編集

原稿要領 題材は自由、一人当たり千二百字（四百字詰の原稿用紙三枚程度）一ページに該当し、ただし自分で題材を決め兼ねる方は、編集部でテーマを考えますから、一報ねがいます。

以上

AKCヴォーカライズ



会費を早く納めてください

毎度お願いしておりますが、昭和三十六年度会費をまだ納入していない方は、至急お納め下さい。八月十二日現在の会費納入者は、二十八人（いずれも実納）で、全会員七十五人に対し三七・三％という不成績です。

毎月の機関紙の発行費、郵送費、CHO-RUS洋のはがき代などに充当する会費です。滞納されると会務に支障をきたします。

どうか、できるだけ早くご納入いただきますよう、願います。（郵送でけっこうです）

会費額（年） 一般会員 三百円
高校生 二百円

・前号までに掲載した分以後の会費納入者

毛利豊（五） 二井真智子（十四） 加藤久美子、津坂絢子、宮部杏子、太田岸子（十五）

ハガキはどうへ消える？

最近またCHORUS用はがきの回収率が非常に悪くなりました。あなたの書かれる一枚のはがきが、会員のつながりを深め、ヴォーカライズを強めるのです。はがきは必ずご返送ください。

編集部ただしがき

私の好きな詩「愛について」

推薦者・神藤敏子（十二）

推薦者のことばが寄せられていないので、どういう点が好きなのか、どう思うか出があるのかは不明。きつと責任感にかられてひっくり返した詩集からみつけたのでしょうか。安藤一郎のいくつかある「愛について」のうちの一つ。みんなの歌「忘れな草」

映画「忘れな草」で急にはやり出したクルティスの曲。原詩はもちろんイタリア語だが、掲載譜は映画と同じドイツ語。原譜を探すひまがなかったためである。あしからず。

「真夏の随想」

題だけ先に決めて書いて書いたら、こんなザマになった。一種の宣伝だから、あいつ生意気だ、とほかの人も来月から書いてくれるだろうというのがねらい。

誕生日おめでとう

・八月一日 溝上 崇子（七） 25歳
・八月十二日 神藤 敏子（十二） 20歳
・八月十四日 宮部 杏子（十五） 17歳
・八月十六日 泉谷 芙紗子（十二） 20歳
・八月十八日 太田 岸子（十五） 17歳
・八月二十五日 志水 照代（十三） 19歳

真夏の随想



あさい・こうぞう

八月の感覚³

雲は流れてしまう。水
もどこかへ… 私の心
はうるおいがない

その昔、ぼくの友人が言いました。

「七月という言葉から感じる、夏の活々(いきいき)とした、はちきれるような力といったものは、彼からは感じられない。むしろ、彼は、妙にひっそり静まりかえった真夏の午後の、カツと強い太陽に照りつけられた緑から感じる、何ともいいようのない、人の心にしみとおるような、あの淋しさから、生れたのかもしれない」

これは、もちろんぼくを評したもののようですが、自分自身を見ているよりも正確に判断しているようで、いつも夏になり、自分の誕生日になると、このことばを思い出します。

七月三十日、やはり、つつがなくぼくは二十七歳(ヴォーカライズ最長老というわけ)になりました。でも、ぼくは夏が好きでも得意でもないし、人一倍細かいからだをよけい細くしながら、あえいで毎日をすごします。…ただぼくは、持病のせいで、秋から冬にかけ

ての季節が大の苦手ですので、いつも夏の間には異常なファイト?を燃やして、暑中見舞いを刷ってみたい、いろいろの計画を立ててみたいする習慣をつけています。

夏: ぼくの夏は、登山でもないし、水泳でもないし、力動感にあふれたものではありません。何か計画するとしても、それはきつと机へ向かって、細かく神経をすり減らす種類のものばかりを考えます。そのくせ、暑さにはばるのでもなく、暑さの中に自分を置くことで暑さに耐えようと試みてきました。

ぼくの、わずかに好む夏は、人が寝静まって、ようやく冷気を帯びた外の空気が窓から流れ込んでくる夜のひととき。一日のうちの、ほんのわずかなその時間に、やつとぼくは安らぎを覚えるのです。そして、きょうまでの二十七年間、毎年描いた自分の計画、自分の歩んだ日々の思いをし、ガツカリしたり、腹を立てたりするのです。

ことしの夏は、こうして予期しない原稿を、ただ単に穴埋めのために、いやいや書いていますが、いつもそういうふうに不安でした。いま、十年も前の旧作をひもといて、なおかつ共感があるのは、やはり、現在の自分に不信の念をいだくからでしょう。

9月のメモ

◇: ヴォーカライズ

・「Vocalize」158号は九月一日発行の予定です。編集は伊藤(十四)加藤(十五)両若手委員。この号から平常発行に戻るの、一月先走りのメモを解消できそうです。

・はがきはこの157号とともに半数の方々へはがきを同封しました。必ず返送願います。

・合唱団は九月は29.16.23.30の各土曜日午後五時三十分から旭丘音楽室。

・誕生日は安井(十二)野村(十三)谷(十四)の皆さん。

◇: 音楽会の手引き

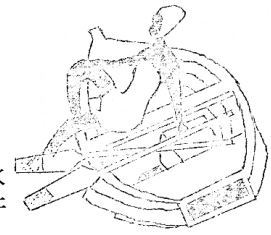
秋のシーズン入りで、やつと「らしい」演奏会にありつけます。

・「バレエ」ポリシヨイバレエ「バレエ・コンサート」15日(金)文 小牧バレエ「コッペリア」17日(日)18(月)公 《オケ》小沢征爾指揮 イムペリアル。フィル 15(金)公 《ヴォーカル》ゲルハルト・ヒッシュ16(土)公 《ポピュラー》芦野宏(金)文、鈴木章治とリズムエース23(金)23(土)24(日)公 ミュージカル「アイ・ラヴ・ラヴ」13(火)公 《地元》明石成子・福田富子《ジョイント》(金)文

・見もの ポリシヨイばれえ(名古屋公演は初めて)文化講堂なのでC席八〇〇円でもいいから、ぜひ…

・ききもの ヒッシュのドイツリート(労音)二五〇円 12月の音協例会にも出演の予定

Chorus



7月下旬~8月上旬

永井 充(八)

仕事とはいえ、いたるところへ行ける。

今年になって赤倉のスキーにはじまって四国へ四回、九州、東京から日光、夏山で志賀高原。二十六日からほんとうの遊びで奥日光。九月早々には北海道。いいかげんいやになりました。二人だけの蜜月旅行とやらがしたくなりましたが…。

水野 公子(十三)

八月十六日から三泊四日で京都旅行にまいります。おみやげ希望の方は、前もって現金持参のうえ申し込み下さい。森本さんのようなことはいやですからね。(相すみません)

平山 葉子(十四)

「夏休みだ」という意識の強い夏休みが最後かと思うと、少し恐ろしいよ

うな気がします。

池谷 芳子(十四)

落ち着かなくて、何も手につきません。雑念ばかり入りこんで、シヤクにさわってきます。毎日、明日こそ生まれ変わったように勉強しようと思っているのみです。どうせこんなことなら…と海へ行っちゃったので、気がひけて山へ行けなくなりました。大いなる後悔の真最中。ケシカラン三年生です。

明日こそは、生まれ変わったように勉強するつもりです…。(あくまで予定、あアあ!)

松沢 暢夫(六)

八月十三・十四・十五の三日間は会社が休みです。(もつとも十四・十五の分は四、五月のゴールデンウィークに出勤しているのです)そこで、現在アルプスに行く計画をたてています。アルプスといっても、上高地から穂高かどこか一つか二つ登るだけの予定です。今、日曜のたびに六甲でトレーニングをしています。五、六貫の荷物をかついで山を登るというのは、容易なことではないことがつくづくわかりました。遭難はしないつもりですから、香典の心配は今のところいり

ません。でも、その節はよろしく。

水野 令子(八)

先月(六月)の二十三日より二十日余りの入院生活から開放され、一カ月ぶりにまた職場に戻ってきました。

生れて初めての長い病氣と争い、いつも忙しい、忙しさと勤めておりました生活から離れて、終日自分のことを顧みたり、将来のことを夢みたり、同病の人といろいろのことについて語り合ったり…痛かったのはとてもつらかったけれど、よい経験になったと思いました。

まだ当分の間は通院しなくてはいいませんが、気分もすっかり良くなり、また楽しい日が過せます。でも変なくせができてしまい、やたら鼻をびくびく、くんくんやっしてしまいますのには、自分ながら苦笑してしまいます。

高橋 昭弘(十三)

バイトをやっています。労働時間は、適当にさぼって三、四時間ですけど、エンテン力を歩くので、えらいです。その結果、持ち前のイロジロが真っ黒になり、口の悪い連中からは「昼間から飲んできやがって」だの会う人ごとに「何日ぐらい海へ行つてらっしゃいました?」だの

言われてヘイコウしています。

せっかくまとまって勉強できる期間を、あたたらアルバイトなどをして過さねば成らないとは、全く学生として悲しむべきことです。(へへへ...) これも政治のヒンコンさのせいでしょうか。もっともカセギの使い方はというと、全部遊びなんですけどネ。勝手なものですネ、人間ってというのは。

浅井 幸三(五)

ことしになって二度ほど、待ち合わせ時間をスッポかされました。もっとも相手はそのつど違うのですが、一度はおとなしく四十五分間、二度目は実に六十五分も待っていました。しかし、不思議なことには、二度ともいっこうに腹が立たなかったのです。「もっと怒ってほしい」とある人には言われたのに、われながらまったくわからない心境でした。とはいうものの、そうして待っていた自分がひどくあわれで、そして気の毒でもあったことも事実です。申し遅れました。二度とも目的を果たさず私は帰ったのです。ただし、これが恋人だったら、絶対に許しません。

アンケート

enquête

最も有効適切な銷夏法(夏を涼しく過す方法)をお教え下さい。
また食事をおいしく食べるには、どうしたらいいでしょうか。
寝苦しい夜の対策は?

水野 令子(八)

①南極か北極へ避暑に出かけましょう。②三日ばかり絶食してから食べましょう。③表に縁台を持ち出し、おぼけの話に花を咲かせたり(もちろん昼寝をしておいて)世間話、人情話で語り明かしましょう。

松沢 暢夫(六)

①夏が近づいたら冷房付きの豪華船で南半球に渡る。どうしても日本にいたければ、飛行機で北海道へ行く。②毎日業界一流の料理店に行つて食べ放題食べる。③夜は冷房完備の部屋でスースカスースカ。それができなかつたら昼間は暑さを忘れるほど一生懸命働く。そうすればご飯もおいしいし、夜もよく眠れる

池谷 芳子(十四)

②食事はおいしく食べないことです。(効用:特に女性向き。すんなりスマートになります)③寝苦しい夜は寝ないことです。(効用:右に同じ。また熱狂的趣味または義務のある人は夜を徹してそれをする事

いつかはねむくなつて寝られないではいられない)

平山 葉子(十四)

①やはり気の持ちようだと思います。私も受験生で気ははっているせいか、暑さでどうにもならないということはないようです。③主題にはずれませんが朝寝坊を防ぐ方法を。朝日のカンカン照る部屋に寝ることです。そうすれば朝は必ず六時に目がさめます。また、むさ苦しい部屋に寝ても、精神的に肉体的に健康な人ならば十分熟睡でき、朝ねぼうの心配はありません。

高橋 昭弘(十三)

①名古屋中いたるところにある、あのパチンコ屋は大いに利用価値があると思います。たいてい冷房完備ですからね。電車を待つ、ときなんか、中で待ってれば非常に涼しいですし、家にいても何もすることないし暑くてたまらんといい人は、近くのパチンコ屋へ入つて、あんまりうまそうじやない人を見ていると冷汗が出ていつそう涼しいです。もちろん金のある人は自分でやつてもいいのですけど、そうするとフトコロの方が涼しくなりすぎてカゼをひくおそれがあるのでご注意下さい。

会員インタビュー

③

加藤 清・幽香子夫妻にきく

「音楽だけは絶やさない家庭を」

「会員インタビュー」第三回は、方向転換して、家庭をもった会員、それもAKC出身者同士が結ばれた加藤清・幽香子夫妻という、いともうらやましき(?)カップルにご登場ねがうことにした。おあつい話は夏向きではないかもしれないので、これでもほどほどに聞いたつもりである。

編集部 若林 延昌 (五)

同 浅井 幸三 (五)

加藤 清 (四)

AKC26年度部長として、内に外に大活躍。ヴォーカライズ創立当時会長を勤める。名古屋大学文学部を卒業後、CBCに入社、現在はラジオ報道部ニュース課に属する。シティーコーラス代表者。

加藤幽香子 (五)

旧姓景山。Vocalize 紙上にかつて連載された「東京だより」の筆者としてあまりにも有名。AKC当時はピアニストとして活動。二年終了後転校したが、以後ヴォーカライズの熱心な協力者。

△わが時代と十年後に会う会のこと▽

この日のメンバーがいずれも昭和二十六年度にAKCの中心となって動いていただけに、そのころの話がまず持ち出された。二十六年度は、器楽室ができ上がって、一号室を暗々裡に、そして半ば公然と部室にしてしまった記念すべき年であった。

きよし「われわれの最初の旭丘の思い出というのは、一号室ができて、最初の住人になったということ。荒れが出来て、だいが音楽部の生活というのが変わってきていると思うんだ。それまでは、音楽室でもってただタムロしているだけで、部の部屋というものがなかったから、あれができたことによつて、音楽部の生活が楽しめるようになったのじゃないかな。それがやつぱり音楽部の一つの区切りじゃないかな」

…最近は何んか変わっているんじゃない? あまり集まっていらないらしい。きよし「われわれのときは、朝まずあそこへ行って授業が始まるまでガヤガヤ

やっていた。放課の間にもよく集まっていたろう。昼休みはもちろん、あそこで弁当を食べた連中もいるし、放課後練習が始まって、なかなか練習に行かないで、あそこでガヤガヤやっていた。大体、最高メンバー二十名くらいはいた」

…そのときのメンバーで、たまたま十年後に会おうじゃないかという話が出ちゃって、それが来年の夏ということになるわけだね。十年一昔というけど。…(加藤氏夫妻は、この十年後に会う会の主唱者であり、推進者でもある。)

きよし「十年後に集まろうと言いだしたときは、だれもほんとうに十年後に集まれるとは思っていなかったんだよ」

ゆかこ「きつとばらばらになると思っていた。半分冗談に言っただわ、私が」

この会合の前日、九年目の例会をしたばかりだし、みんなの消息もつかめるし、あまり変わりばえしないので、十年後への楽しみ、ありがたみは薄れたかもしれないが。でも最初はこんなつもりじゃなかった。その証拠に:

…だれか、こういうことをいったね。もしだれかが外国へ行っていたら、十

年後のきょう電報を打つこと、なんて…。

ゆかこ「知らない、全然。いったことはね、だれかさんがたくさん子供を連れて現われるだろう、ということだけ」

きよし「まだ独身の人もいるし、またそれほど結婚して世帯じみた人もないし、そういう点では精神的にはあまり年をとっていないわけだ」

五、六期の一号室人種は、昭和三十七年八月二十三日に旭丘高校音楽室に集まることをお忘れなく。

そして、この会は、くされ縁で二十年後も三十年後も続くに違いない、ということである。

△二人のつながりと家庭料理のこと▽

清さんと幽香子さんは、昭和三十四年十一月三日に結婚された。幽香子さんの大阪転居（二十七年三月）以来、実に七年六ヶ月。お二人の愛情は、距離をこえてはぐくまれていたのだった。皆さんお待ち兼ねの話題にはいろう。

…こんなこというの失礼だけど、長いこと離れていて、よくまあ根気よく（？）続いたね。

きよし「離れたとき（幽香子さんが大阪へ移ったとき）は、どういうことはなかった」

ゆかこ「学校にいるときは別に意識していたわけじゃないのね。いつの間にかそうなっちゃった。離れたからよかったの。ずっと同じところにいても、みんなとワイワイやっていたら、やっぱりそういうことにならなかったかもしれない」

…離れたことによって、あらためて相手を意識する、自分を見直す、そういうことができたんだね。

ゆかこ「そりやそうよ。私、大阪で一人ぼっちでいたから、どうしてもついついそう考えちゃうわね」

きよし「とくに親密になったというのはぼくが棒を振っていて、こちらが伴奏をしていたということもあっただろうね。ほかのメンバーよりは、もちろん話し合う機会が多かったということ」

ゆかこ「結局、多い年で年六回くらいしか会っていない。少ない年は一回も会わなかったこともあるでしょう。あとは手紙で…。きつと毎日会っていたら…」

きよし「あきるか」

ゆかこ「知らない」（笑い）

きよし「いま考えてみても、一番の思い

出というのは音楽部の、一号室の生活なんだよ。あそこの生活というのは、別におかしな意味でなくて、人間関係を生み出すようないいふんいきがあつたんじゃないかな。だれさんとだれさんにしても、やっぱりそういうものはあつたんだろう。それはあらゆる人に通用すると思うんだ。あのふんいきを忘れられないから、お互いにつながっているのだろうと思う。そういう人が今後もしどし出てほしい」

お二人がそうだからって、継続部隊を注文してくるのはどうかと思うけど、ダレサンとダレサンのこともあるし、やっぱり仲間同士のおめでたは多い方がいい。

…奥さんのお得意の料理は？

ゆかこ「どっちかというとシナ料理」

…ご主人の好物は？

きよし「ジャガイモ一点張りなんだ、ぼくは。ジャガイモならいいんだ。でもなんでも食べるよ」

ゆかこ「私の好きなものを作っておけばいい」

きよし「婦唱夫随なんだ」

ゆかこ「だって、でなかったら、私オジヤガばかりばかり食べさせられる」

実はここで大論争が突発した。つま

り家系によって料理に甘味と辛味の好みがある。加藤家は辛味、景山家は甘味の系統を引いていたのが発端。思わぬ「お料理の時間」となった。そのもようを載せるには紙面がないので、簡単にしるすと、

きよし「はじめのうちは甘かった。辛味で育ったせいもあるかもしれないが…」

ゆかこ「別に甘くないわ」

きよし「このごろは、ぼくの味が変わってきたね。うまく食べれるし…。でも、はじめ半年くらいは甘くてしようになかった」

ゆかこ「アラ、半年くらいは文句いわないで食べてたのに」(笑い)

というわけで、奥さん側の判定勝ち。結論：各家庭の味覚は母親の好みによって形成される。これすなわち「母系家族」という。(学校の歴史の時間には教えてくれないけれども、こういう歴史は実社会で役立つ?で覚えること)

△車と家庭の中の音楽のことについて▽

…お二方の理想を聞きたい。
きよし「いい車がほしい。だいぶ感化

されたんだよ。こちら(奥さんのこと)に。クルマのクの字も知らなかったのが…」

ゆかこ「だって、朝から晩まで車の話ばかり聞かされて、車の雑誌の中に埋もれていると、そうなっちゃうわ」

…そういうのじゃなくて、二人でいい演奏がしたいとか、そういう話を…。清さんは名フルーティストであり、幽香さんは名ピアノリストであり名ギタリストなんだから。



きよし「フルートとギターのための楽譜がなかなかないんでね」

ゆかこ「自分の家の中に合唱団を集めるのもいいと思わない?」

きよし「それ、理想なんだ」

ゆかこ「大きな部屋つくって防音装置してね」

きよし「十五、六人くらいまではいれて、週一回でも月一回でもいいから、気の合った同士集まって、うちの中で

ただ歌うだけでなくて、しゃべりながら歌をうたう。そういう場所をうちの中に持ちたいと思うんだ。楽器ならサロアンサンブル的なものを、うちの中でやるの」

ヴォーカライズ会館設計画を侵害するような、すごい理想でびっくり。ヴォーカライズのやることなくする。

きよし「いつまでも音楽だけはやっていきたいし、やっぱりそういうことになるね」

ゆかこ「でもね、子どものときからいやるのに習わせようと思わない。自分に好きになつて習うようになればいいけど。おとなになつてから好きになつてもいいのよ。それで生涯生活していこうというわけじゃなくて、ただ趣味でやるのだから」

きよし「理想といえば、音楽だけは絶やさないとことだね」

この部分は、子供にも音楽をやらせたいと思うかという質問に対するもの、これが、この夜の結論である。

『編集部から』このほか、いろいろ話は出ましたが、以上の三点にしばってまとめました。なお、幽香さんの今秋出産説はデマである由、ここに付け加えておきます。

(八月四日夜・栄町「陣屋」で)

みんなの歌

Vergiss mein nicht

忘れな草

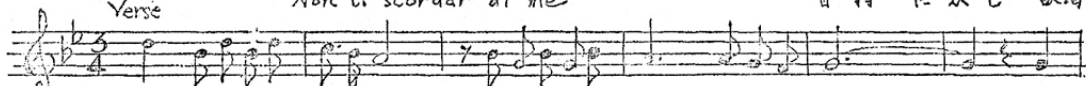
Non ti scordar di me

Ernesto de Curtis 作曲

Ernst Marischka 作詞

音羽 仁 訳詞

Verse



Du bist die schön-ste Frau für mich, du bist mein größ-tes Glück, du bist mein Le - - ben! Mein
き みの あい けくす" このよにい きん かいはし ——— わす



Herz und was ich hab, will ich dir ge - ben! ——— Mein gan-zes Schick-sal
わ れぬき みの お も か け" ——— や さ — し の



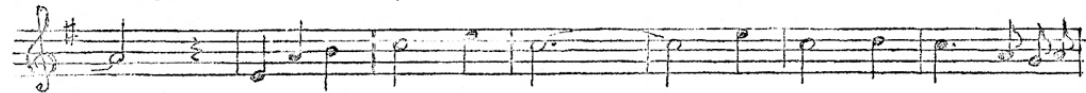
liegt in dei-ner Hand! ——— Wer dich sah, dann ge - schah es so wie mir!
ま けさ" し を ——— いつ の ひに か みたに び"



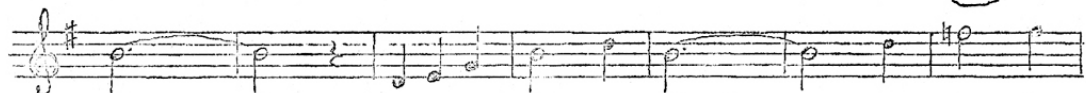
Mich quälte nur der ge-dan - ke, daß ich dich mal ver-lie-r! ———
わ すれなぐ" さ を そ の むね — に ———



Wenn du so zärt - lich bist, ——— dann den ke ich: Ver-giß mein nicht! ———
き みに さ さ ぐ" ——— わ す れ な ぐ" さ — を ———



— Und wenn dein Mund mich küßt, ——— träum ich für mich: Ver-giß mein
— お ね に ひ め し ——— こ の お も い と び"



nicht! ——— Wenn mich dein Arm um - schlingt, ——— dann be - ze
けと ——— か けし き そ の ——— わ か れ



ich: Ver-giß mein nicht! ——— Und kommt der Tag, der uns den Abschied bringt,
の 日 に — も ——— わ す れ え ぬ こ の け な を



bit-te: Ver - giß mein nicht! ——— gib — mein nicht! ———
そ の お も い を ——— も — い を ———



プロフィール

オペラシーズンを待つファン

加藤 厚子 さん
(十二期)

加藤厚子さんを、ぼくたちは厚チャン、アツチャンと呼んでいます。アツチャンと呼んだ方が親しみがもてるからです。

先日おれアツチャンに会ったよ。ぼくもだ、私もよ。：そこで三人の方に加藤さんってどんな人なのか尋ねてみました。

「アツチャンにパーケン（パーティー券の略称）買ってよって頼まれちゃって、つい買わされたよ」「アツチャン、朗らかで伸び伸びしているから、パーケン買いたくなるの無理ないね」「そうね、明るくて感じのよい人でしょ、話をしていると楽しくなってくるもの」「タバコに火をつけるとき、アツチャン、マツチすつてくれるでしょ」「うん、あれ感じがよいね。親切なんだなあ」「アツチャン、東京女子大学国文科で勉強しているのね」「妹さん（AKC、三年生）も東京女子大学に入学してくとよいのにと、お姉さんらしいところを少しのぞかせていたね」「妹さんと



一緒に下宿して、仲よく悪事をたくらむのだって」「アツチャンの方は、一年生から寮生活をしているのよ」「寮生活をしていたらアツチャン、背が二センチ高くなったんだそうね。」「ますますスマートになるんだなあ。東京娘って感じに洗練されていくのね」「アツチャン、ダンス研究会に入部しているけど、パートナーがいなくてつまらないってさ」「十二期の音楽部員の中にはダンスのできる人がいなくて残念だって」「それより、アツチャン、スイカがきらいなんだってね」「珍しいなあ。好きなのはデル・モナコかな」「デル・モナコってオペラ歌手のデルチャンのことだね。アツチャン、そう呼んでいるよ」「アツチャンのウクレレなら歌いながら聞いたけど、バイオリンを聞かせてほしいなあ」「いとこの話だととても上手なんだって」「じゃ、今度会ったらバイオリンをぜひ聞かせてもらおうじゃないか」 (S)

Invention

○前号(56号)とともに発送したはがきは30葉だった。これは全会員の半数。少なくとも15葉は戻ってこようと私たちは樂觀していたのに：結果はごらんとおりわずか8葉、しかもそのうち5人が委員なのだから、ひどくガッカリ。なんだ、毎月コーラスが読みたいっていうのに返事さえ出してくれないんじゃないじゃないじゃないか。編集者にはとても痛くひびいた。

○：そういえば「アカペラ」の原稿も全然。どうか一編寄せてもらって、ゼロという不名誉は免れたものの、この分だと締切を延ばしても：と心配は絶え間なし。

○：今月は、本来ならば、編集にもノータッチでいられるはずだった。でも、結局はこうして登場、いつも変りばえのないところをみせることになってしまった。休めば休んだで、「きみがやらないと編集方針が不統一になるんじゃないのか」といわれるし、立つ瀬もない。毎号編集する者、原紙を切る者、印刷する者それぞれが、それこそ睡眠時間を減らし、休みを提供してやっているのに、もし「Vocalize」が十分に読まれていないとすると、あまりにもさびしい。

(浅井) 若林、神藤、加藤